

# ウイングデッキ

# 取付要領書

モデルスタ品番: D2523-41820

この取付要領書は、次の適応車種についての取付方法を記載しています。他の車両には取り付けることが出来ませんので注意してください。

## 適用車種

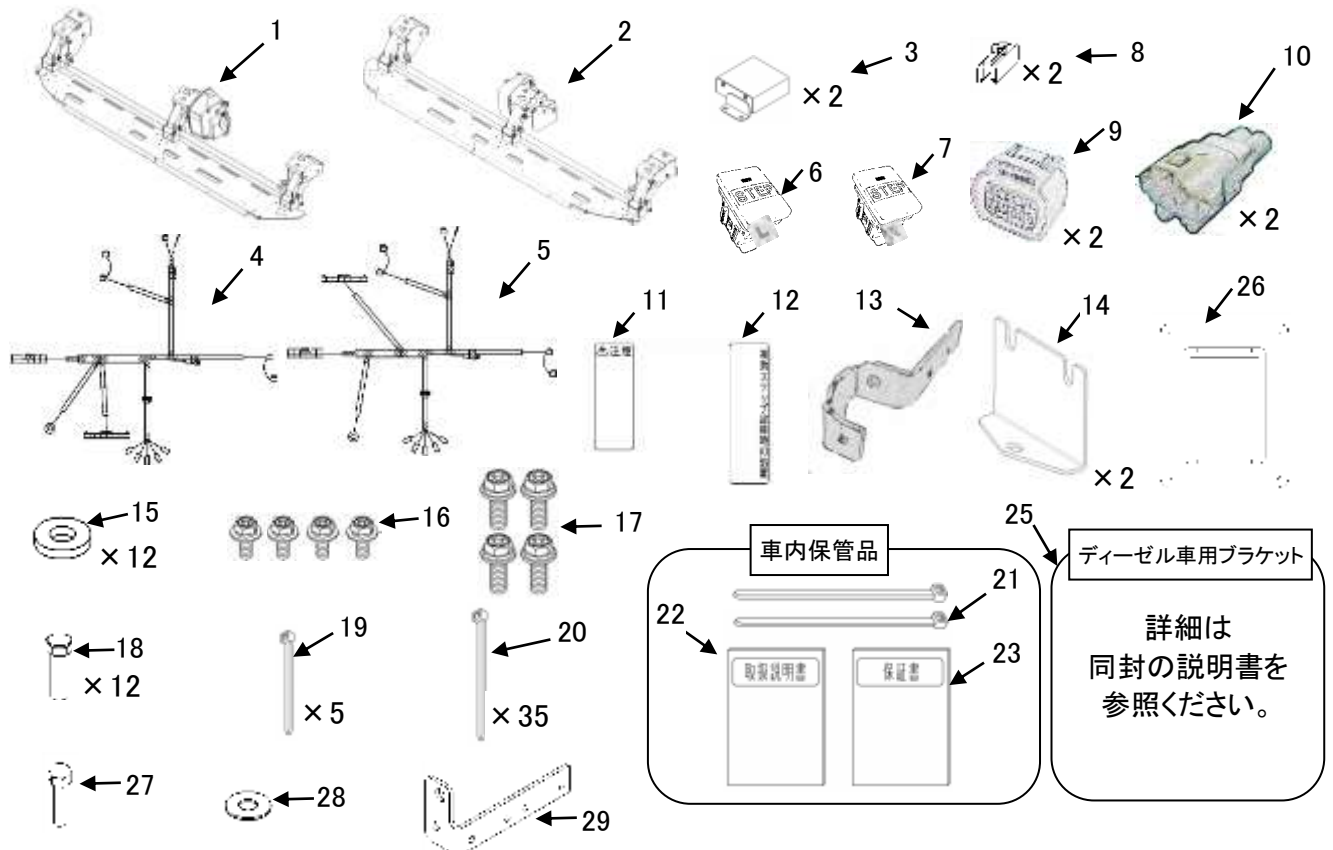
車種名	型式	製品仕様
トヨタ ランドクルーザー プラド	・TRJ150 ・GDJ150, 151	・運転席, 助手席両側 ・ドア連動作動式

## 構成部品

作業を始める前に構成部品の確認を必ず行ってください。(本書中の部品名横の数字は下表の部品番号を示しています)

No.	部品名	数量	No.	部品名	数量	No.	部品名	数量
1	ステップ本体(LH側)	1	11	コーションラベルA	1	21	結束バンド250L	2
2	ステップ本体(RH側)	1	12	コーションラベルB	1	22	取扱説明書	1
3	コントロールボックス	2	13	ステー, コントロールA	1	23	保証書	1
4	ワイヤハーネス(LH側)	1	14	ステー, コネクタ	2	24	取付要領書(本書)	1
5	ワイヤハーネス(RH側)	1	15	プレートワッシャ	12	25	ディーゼル車用ブラケット	1式
6	スイッチ L(LH側)	1	16	ボルトM6×16L	4	26	SWベゼル	1
7	スイッチ R(RH側)	1	17	ボルトM8×20L	4	27	ボルトM6×20L	1
8	1極ハウジング	2	18	ボルトM8×25L	12	28	プレートワッシャ	1
9	防水6極コネクタ	2	19	結束バンド150L※	5	29	ステー, コントロールB	1
10	防水2極コネクタ	2	20	結束バンド200L※	35			

※結束バンド150L、200Lは余分に入っている為、全部使用しません。



## 取り付けに必要な工具等

- ・一般工具
- ・φ25ホルソー

## 取り付け上の注意事項

- ・ 取付要領書は必ず作業前に最後までお読みいただき、内容を十分理解した上で作業を行ってください。

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています



### 注意

……………注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する恐れがあることを記載しています



アドバイス……………スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

作業を行う時は、バッテリーの⊖端子を外して10分以上経過してから作業してください。

また、バッテリーの⊖端子はステップ関係の配線を全て終了した後に取り付けてください。

バッテリー端子を外せない車両は、ステップ電源取出ハーネス（ワイヤハーネス、バッテリー）の⊕端子をステップ関係の配線が全て終了した後に取り付けてください。

- ・ バッテリーキャンセルを実施すると「パワーウインドウ開閉」「ナビバックガイドモニター表示」等が作動しない場合があります。車両によって状況が異なりますので、車両に付属されている「ユーザーズマニュアル」で内容をご確認いただき、修復してください。

- ・ 各部のボルト類は、確実に締付けてください。

本文中に締付トルクの指示がないボルトについては、下記の締付トルクで締付けてください。

M6 : 3.9 ~ 6.9 N・m ( 40 ~ 70 kgf・cm)

M8 : 9.8 ~ 15.7 N・m ( 100 ~ 160 kgf・cm)

M8 (8T) : 19.6 ~ 29.4 N・m ( 200 ~ 300 kgf・cm)

- ・ 穴加工部には防錆処理（タッチアップ塗装等）を行ってください。

- ・ 運転席左側のスイッチパネルにステップスイッチLを取り付けできない為、インストルメントパネルを加工してステップスイッチLを取り付けてください。販売店様においてインストルメントパネルの穴あけ加工が必要になります。

取り付け方法についてはP20 ステップスイッチL取り付けを参照ください。

- ・ 配線の接続は、配線図をよく確認して作業してください。コントローラやハーネスの焼損の恐れがあります。

## 作業後に・・・

- ・ 取扱説明書を参考に作動させてください。

- ・ ⑳ 取扱説明書, ㉓保証書に必要事項を記入・捺印してください。

（ 取扱説明書最終項の販売店欄に捺印(もしくは記入)  
保証書に販売店名・装着時走行距離等の記入 ）

記入・捺印後、結束バンドと共に、ファスナー付ポリ袋に入れ車内に保管してください。





写真3. カウルサイドトリムボード LH取外し

- 写真3のように助手席側のカウルサイドトリムボード LHを取外しておく。



写真4. インstrumentパネルアンダカバー取外し

- 写真4のように助手席のInstrumentパネルアンダカバーSUB ASSY NO. 2を外しておく。またハーネスを運転席側へ通すセンタートンネルを作るためのトリムも取外しておく。



写真5. センターピラーガーニッシュLWR LH取外し

- 写真5のようにセンターピラーガーニッシュLWR LHを外しておく。



写真6. デッキトリムサイドパネルASSY作業

- 左側後部座席のドアスイッチへと配線できるように、デッキトリムサイドパネルASSY LHのグリップとベルトのボルトを外し、トリムを手で軽く浮かせることができる状態にする。



写真7. カウルサイドトリムボード RH取外し

6. 運転席側と右側後部座席の各種スカッフプレートをP. 3の作業工程1. と同様に取外す。
7. 写真7のように運転席側のカウルサイドトリムボード RHを取外す。



写真8. インストルメントパネル取外し

8. 写真8のように運転席のインストルメントサイドパネル RH、インストルメントパネル エアバックASSY LWR NO. 1、インストルメントパネルフィニッシュパネルSUB-ASSY LWRを取外す。



写真9. 運転席センタートンネル出口作成

9. センタートンネルの出口を作るためのトリムを取外し、ワイヤハーネス・メインLHを助手席から運転席へ配線できるようにする。(写真9参照)
10. センターピラーガーニッシュ LWR RHのトリムをP. 4の作業工程4. と同様に取外す。
11. 右側後部座席のドアスイッチへ配線できるようにP. 4の作業工程5. と同様にデッキトリムサイド パネル ASSY RHを手で軽く浮かせる状態にする。

## 車両の穴加工

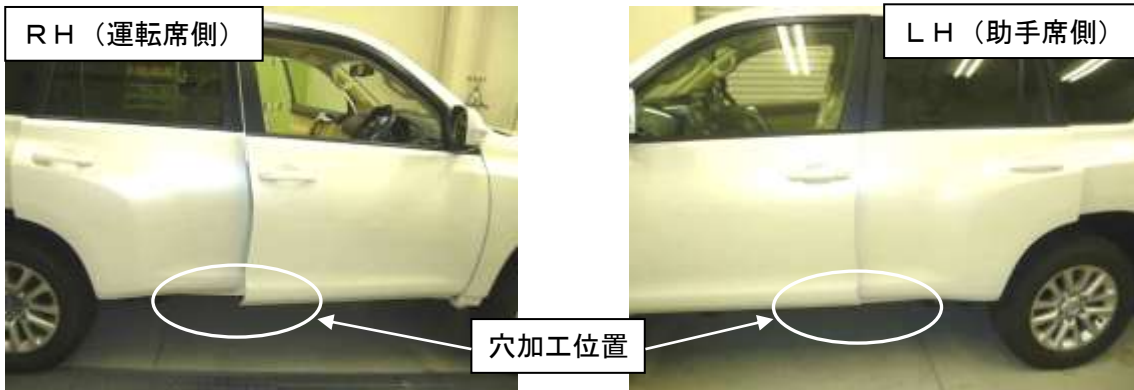


写真10. 車両穴加工位置 (側面視)

車両からハーネスを床下に落とすための穴加工をする。図1のように車両既設穴を基準に床下から $\phi 25$ の穴加工をする。

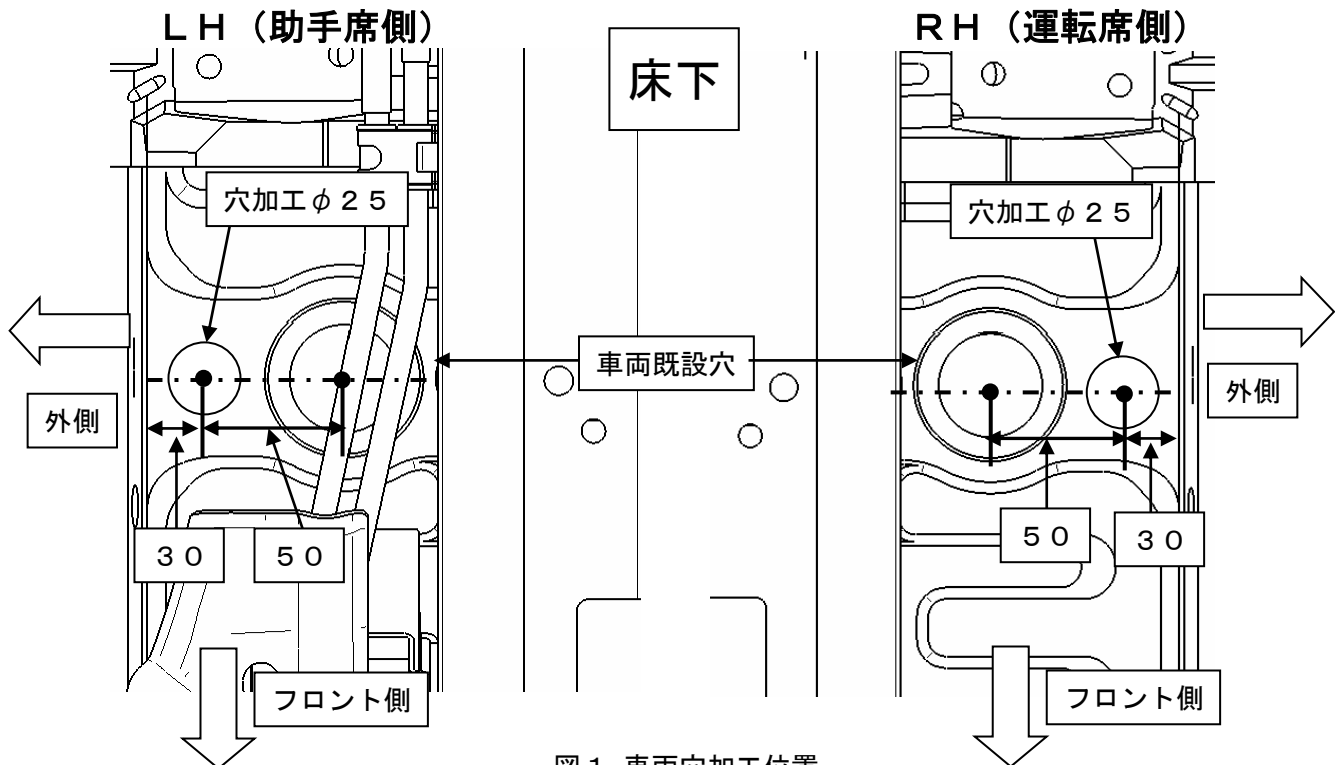


図1. 車両穴加工位置

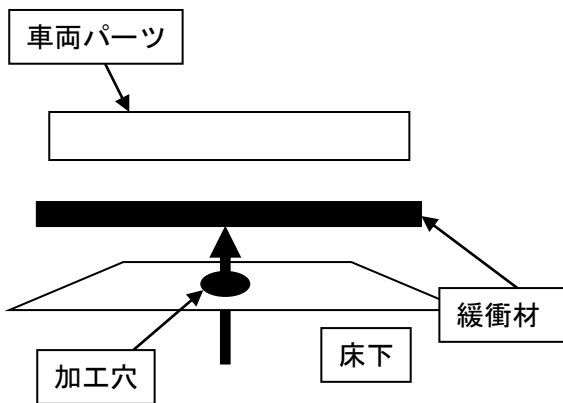


図 2. 車両穴加工方法

**⚠ 注意**

穴あけの際、貫通したドリルでウォッシャーホース、ハーネスを傷つけないように、穴加工位置から極力離して下さい。

**👉 アドバイス**

穴空けの際、貫通したドリルで車両部品を傷つけないよう穴位置上部に緩衝材（梱包ダンボールを2～3枚重ねる等）を置いて作業を行って下さい。



写真 1 1. 緩衝材差込み



緩衝材

## コントロールボックスの取り付け

2020年8月一部改良前後でコントロールボックスの取り付け方法が異なります。

一部改良前はP. 8、9 一部改良後はP. 10に従って取り付けてください。

<一部改良前>

⑩ボルトM6×16L（1個）、⑪ボルトM6×20L、⑫プレートワッシャ、⑬ステー、コントロールBは一部改良後専用のため使用しません。

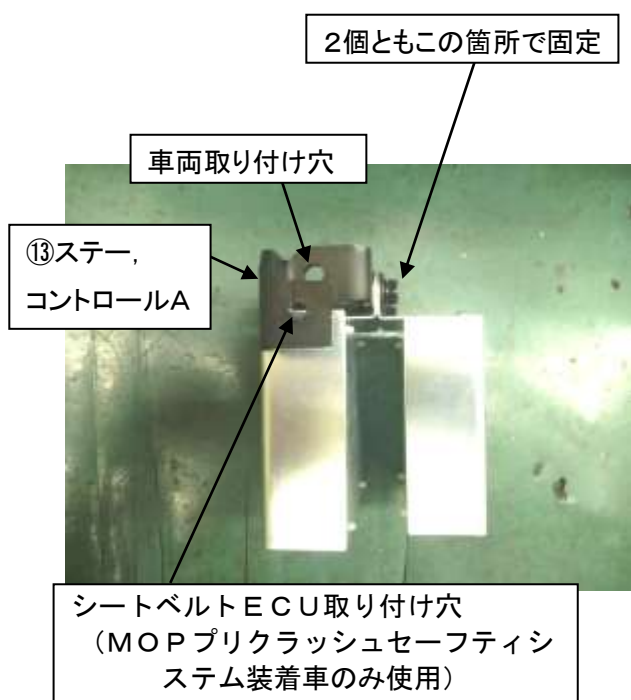


写真12. コントロールボックスのステー取り付け

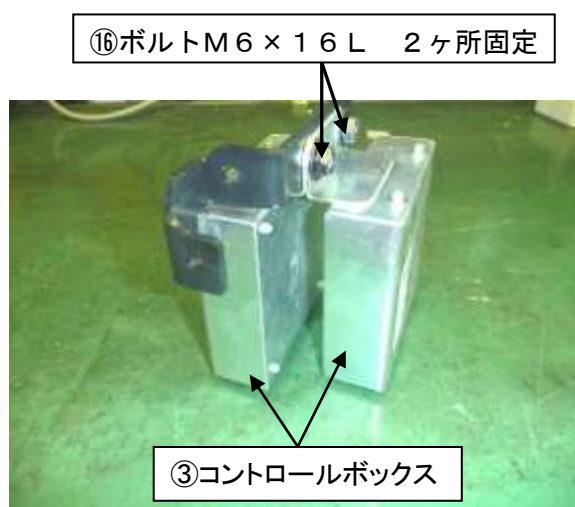


写真13. MOPプリクラッシュセーフティシステム非装着車の場合

1. 写真12のように2つの③コントロールボックスの穴位置を合わせ、同じ箇所で付属の⑬ステー、コントロールAに⑩ボルトM6×16Lで2ヶ所固定し取り付ける。
2. 作業工程1. にて組付けた③コントロールボックスを写真15(P. 9)の車両ステーのタップ 加工がしてある箇所に⑩ボルトM6×16Lで固定して取り付ける。  
MOPプリクラッシュセーフティシステム装着車の場合は、シートベルトECU固定既設ボルトM6を取り外して⑬ステー、コントロールAのシートベルトECU取り付け穴に写真14、15(P. 9)のように上記既設ボルトM6でシートベルトECUを取り付ける。



写真14. MOPプリクラッシュセーフティシステム装着車の場合



写真15. コントロールボックスの車両取り付け

⑬ステー, コントロールA 取り付け位置  
(⑯ボルトM6 × 16 L 固定)



③コントロールボックス

MOPプリクラッシュセーフティ  
システム非装着車の場合

シートベルトECU

⑬ステー, コントロールA 取り付け位置  
(⑯ボルトM6 × 16 L 固定)



シートベルト  
ECU 固定既設  
ボルトM6

③コントロールボックス

MOPプリクラッシュセーフティ  
システム装着車の場合

<一部改良後>

⑬ステー, コントロールAは一部改良前専用のため使用しません。

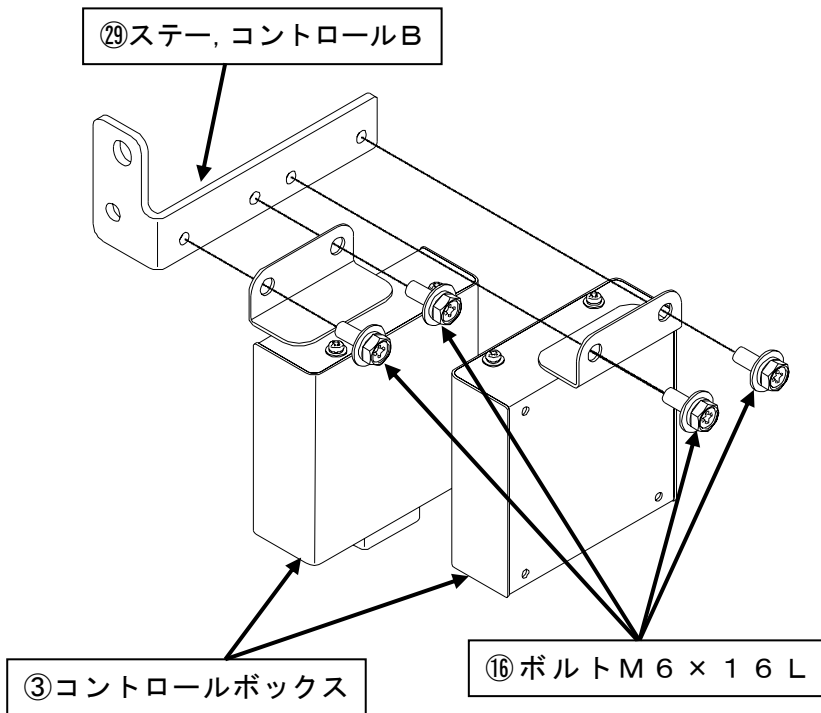


図3. コントロールボックスのステー取り付け

1. 図3のように③コントロールボックスを⑲ステー, コントロールBに⑯ボルトM6 × 16 L (4ヶ所)で取り付ける。
  2. 写真16の車両ステーに既設ボルトで取り付けられているリレーボックスを取り外し、作業工程1.にて組付けた③コントロールボックスを図4のように⑳ボルトM6 × 20 L、㉘プレートワッシャで取り付ける。
- ※既設ボルトは使用しない。



写真16. コントロールボックスの車両取り付け

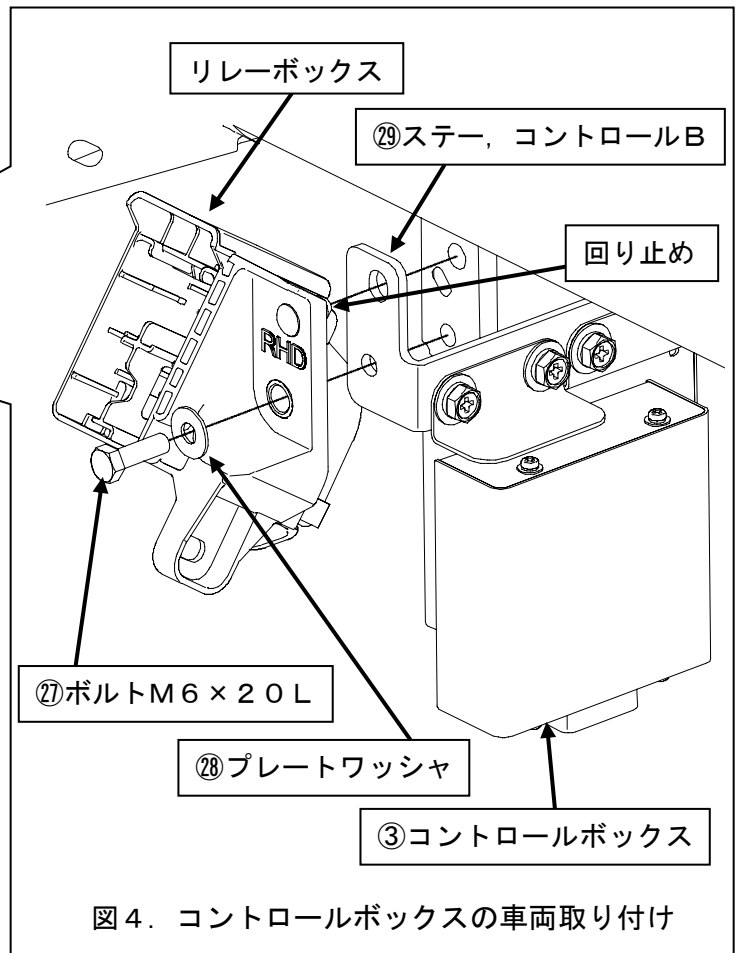


図4. コントロールボックスの車両取り付け

## 助手席配線作業



写真17. 助手席グローブボックス付近配線



1. ④ワイヤハーネス LH (識別用に LH にはコントロールボックスコネクタ、スイッチ用コネクタ付近に白テープを貼り付け済み) を写真17の矢印方向へ配線させ、コントロールボックス用10極コネクタ、スイッチ用8極コネクタ、アース用丸型端子を運転席側に持っていく。

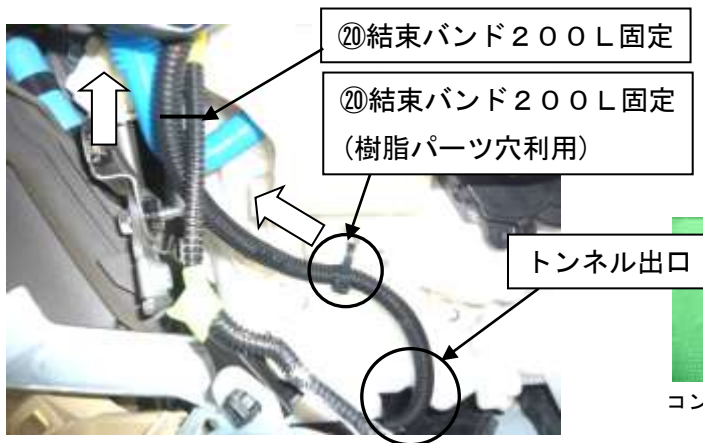
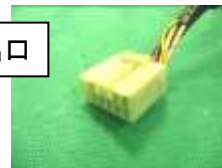


写真18. トンネル通過後配線



コントロールボックス用



スイッチ用



アース用

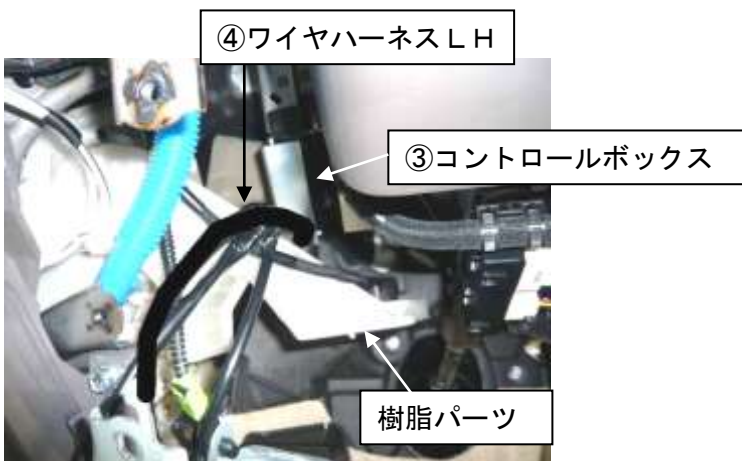


写真19. コントロールボックス接続

2. ④ワイヤハーネス LHがセンタートンネルを通過し、運転席へと配線したら10極コネクタを頭に写真18のように配線させる。②⑩結束バンドでの固定は③コントロールボックス接続後に行い車両ハーネスと樹脂パーツの穴を利用し、②⑩結束バンド200Lで固定する。(2ヶ所固定)
3. ④ワイヤハーネス LHを写真19の白い樹脂パーツの手前に持っていき、そのまま樹脂パーツの上を通しながら左側の③コントロールボックスへと配線し接続する。

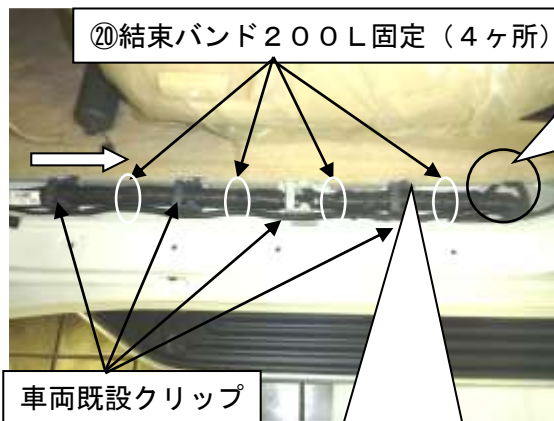
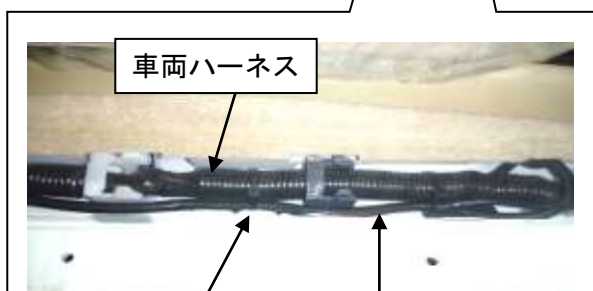


写真20. ドアスカッププレート LH内部配線



⑳結束バンド200L  
固定

④ワイヤハーネスLH

4. 加工したφ25の穴にグロメットをはめ、端子を床下に落とす。
5. 写真20のように④ワイヤハーネスLHをドアスカッププレートLHの車両ハーネスに沿って外側に配線する。この時、④ワイヤハーネスLHは車両既設クリップを避けながら配線し、⑳結束バンド200Lで車両既設クリップ間の中間を車両ハーネスと一緒に固定する。(4ヶ所固定)
6. 床下に落とした④ワイヤハーネスLHの端子に付属の⑨防水6極コネクタを接続する。(図5参照)
7. 残った車両ステップ照明用コネクタを付属の⑩2極防水コネクタ オスと接続し防水処理した後、写真21のように④ワイヤハーネスLHとビニルテープで固定する。

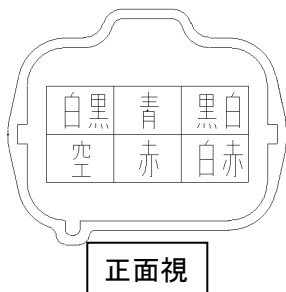


図5. 端子コネクタ接続

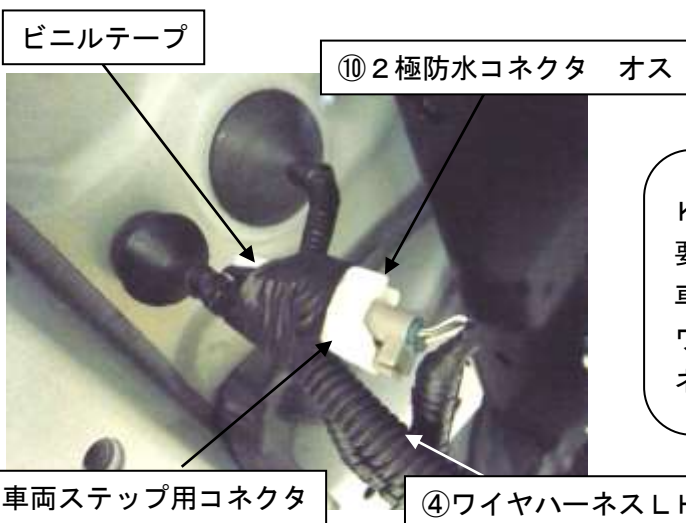


写真21. 防水2極コネクタ取り付け

**⚠ 注意**

KDSS装着車の場合は、別紙 ウイングデッキ取付要領書[追補版]を参照し、照明用2極防水コネクタを車両ハーネスにテーピングで固定して下さい。ワイヤハーネスLHへテーピングしてしまうと、ハーネスブラケット内に収納できなくなります。



写真22. JBボックス付近配線



8. スカッフプレート内に沿って配線した④ワイヤハーネスLHを青いJBボックスの下を通し奥へ配線する。その後、奥にある太い車両ハーネスと④ワイヤハーネスLHを㊿結束バンド200Lで固定する。(1ヶ所固定)

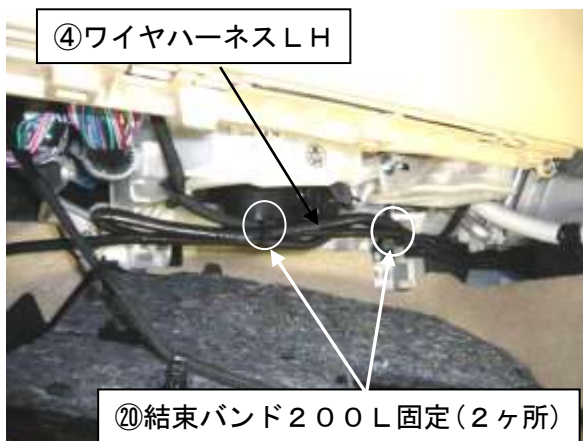


写真23. グローブボックス付近ハーネス固定

9. P. 11の作業工程1で配線した④ワイヤハーネスLHを写真23の位置で車両ハーネスと一緒に固定する。この時、長さが余った④ワイヤハーネスLHを束ねて長さを調整し、車両ハーネスと共に㊿結束バンド200Lで縛る。(2ヶ所固定)

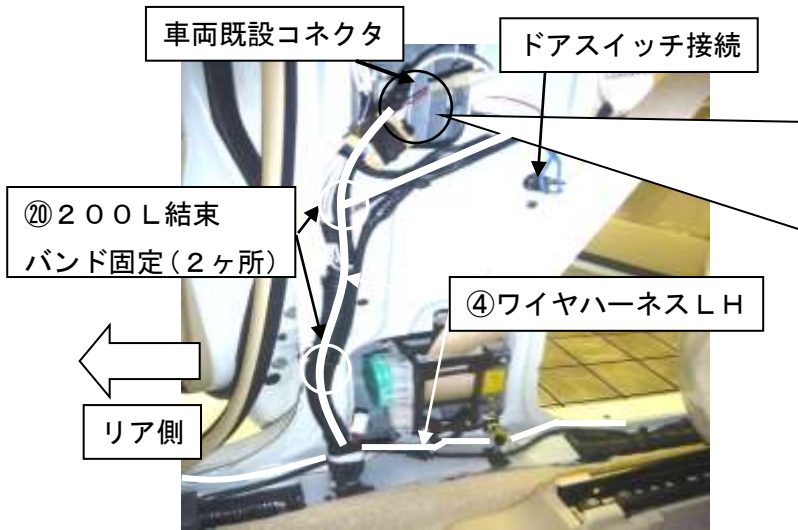


写真24. センターピラー配線



写真25. ベルト行きハーネス付近配線

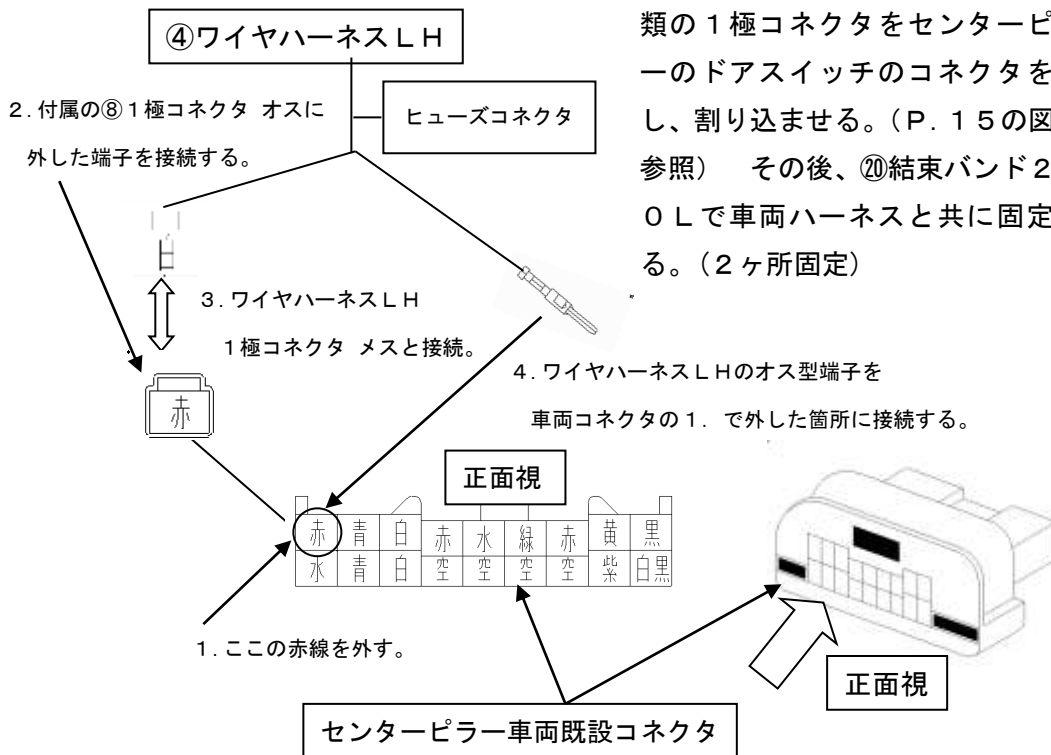


図6. 助手席側電源取り出し

10. 写真24、25のように④ワイヤハーネスLHをセンターピラーと太いハーネス、ベルト行きハーネスの間を通す。赤白線をリア側方向に、青黒線と白線をセンターピラーの車両既設18極コネクタ方向へ配線させる。ヒューズコネクタの付いた白線を車内側の車両既設コネクタのパワーウィンド電源へ割り込ませ(図6参照)、青黒線の2種類の1極コネクタをセンターピラーのドアスイッチのコネクタを外し、割り込ませる。(P.15の図7参照) その後、⑳結束バンド200Lで車両ハーネスと共に固定する。(2ヶ所固定)

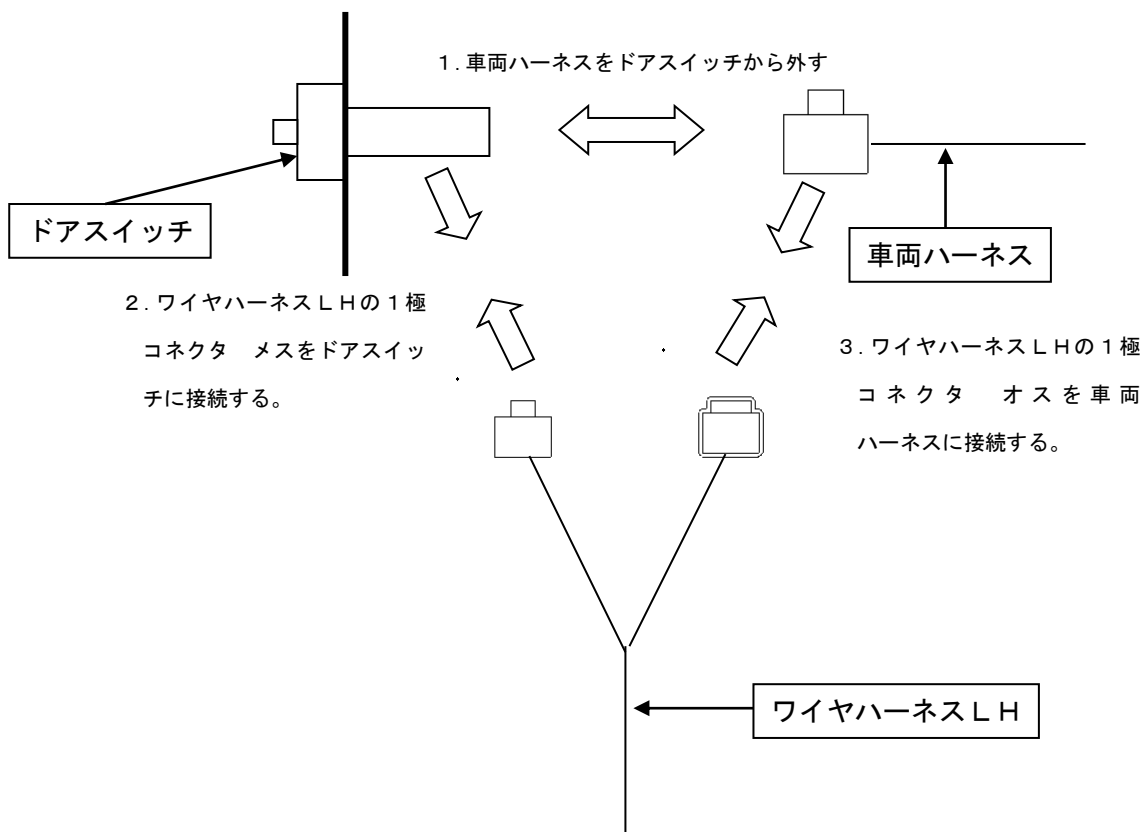


図7. ドアスイッチ接続

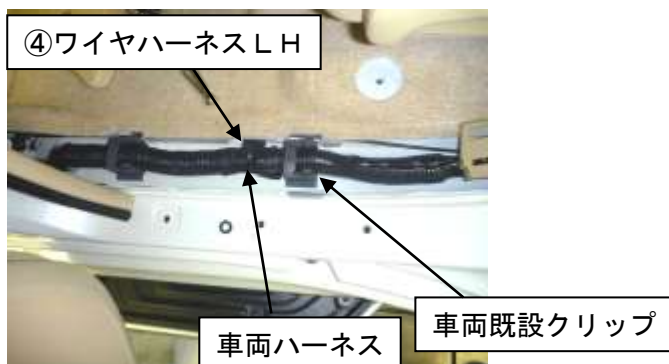


写真26. リアドアスカッフプレートLH内部配線

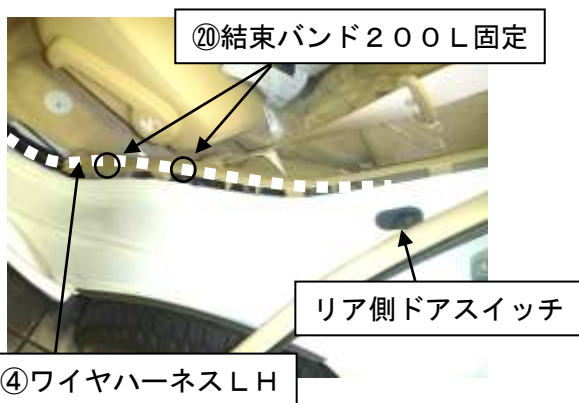


写真27. デッキトリムサイドパネルASSY付近配線

- 1 1. ④ワイヤハーネスLHの赤白線を写真26のようにリアドアスカッフプレートLH内のクリップの中を通しながら車両ハーネスの内側に沿ってリア側へ配線させる。
- 1 2. 写真27のように④ワイヤハーネスLHを配線させ、リア側のドアスイッチのコネクタを外し図7のように2種類の1極コネクタをドアスイッチに割り込ませ、④ワイヤハーネスLHを車両ハーネスと一緒に②⑩結束バンド200Lで固定する。(2ヶ所固定)その後割り込ませたコネクタをビニルテープで④ワイヤハーネスLHと一緒に固定する。

## 運転席配線作業

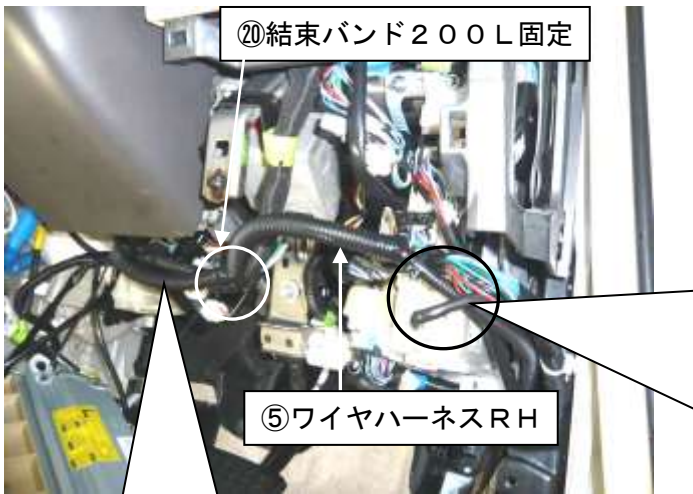
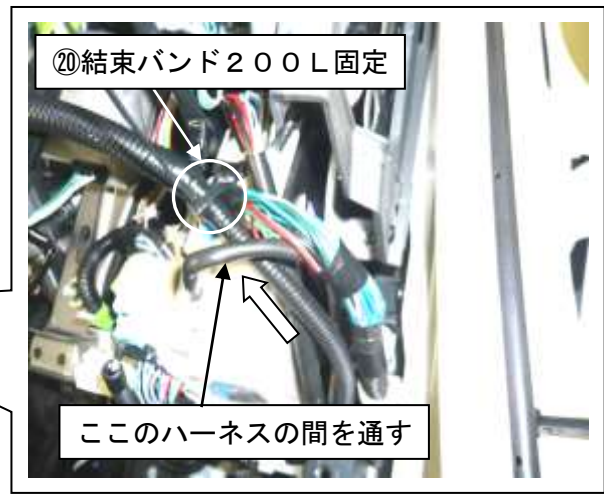


写真28. 運転席ハンドル付近配線



右側配線



左側配線

- ⑤ワイヤハーネスRHの10極コネクタ、8極コネクタ、丸型端子を③コントロールボックスへと配線させる。配線の際に写真28の右側配線のように輪になっている車両ハーネスの間を下から通す。
- 10極コネクタを写真28の左側配線のように車両既設樹脂パーツの上を通し、右側の③コントロールボックスに接続する。

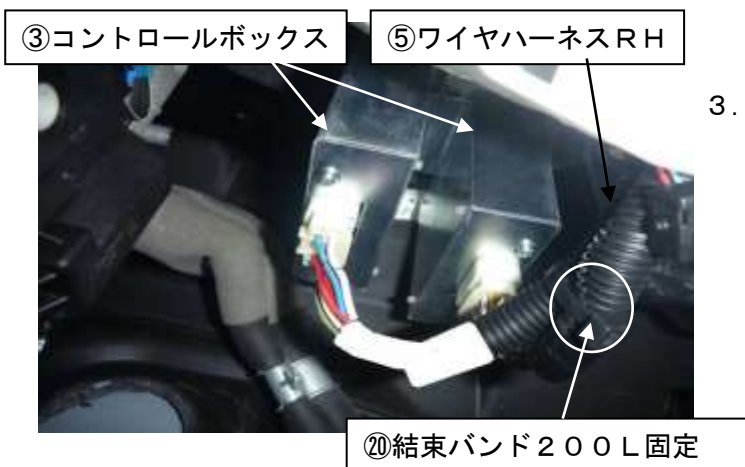
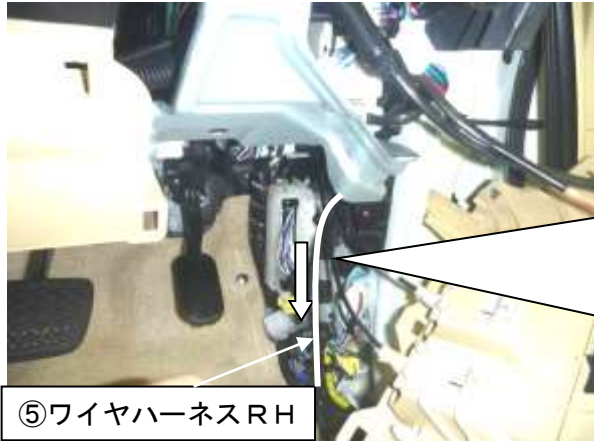


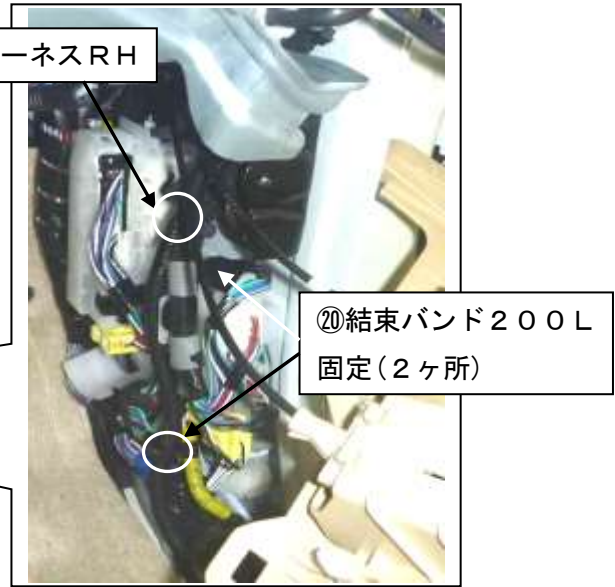
写真29. コントロールボックス接続

- ③コントロールボックスに接続した2本のワイヤハーネスを写真29のように⑩結束バンド200Lで縛る。その後、写真28の結束バンド固定位置で⑤ワイヤハーネスRHを車両ハーネスと一緒に固定する。(4ヶ所固定)



⑤ワイヤハーネスRH

写真30. カウルサイドトリム ボードRH配線



⑤ワイヤハーネスRH

⑳結束バンド200L  
固定(2ヶ所)

4. ⑤ワイヤハーネスRHを写真30のように運転席JBボックス付近を配線させ、写真30の箇所で車両ハーネスと一緒に⑳結束バンド200Lで固定させる。(2ヶ所固定)



グロメット位置



⑤ワイヤハーネスRH

車両ハーネス

車両既設クリップ

写真31. ドアスカッププレートRH内部配線

5. ドアスカッププレートRH内のクリップの中を通しながら車両ハーネスの内側に沿って⑤ワイヤハーネスRHを写真31のように配線させる。その後、始めに加工した穴にグロメットをはめ、端子を床下に落とす。
6. LH側と同様に床下に落とした⑤ワイヤハーネスRHの端子に付属の⑨防水6極コネクタを接続する。(P. 12、図5参照)
7. LH側と同様に残った車両ステップ照明用コネクタを付属の⑩2極防水コネクタ オスと接続し防水処理した後、P. 12の写真21のようにワイヤハーネスRHとビニルテープで固定する。KDSS車両の場合はP. 12の注意も参照し、同様に作業を行なうこと。

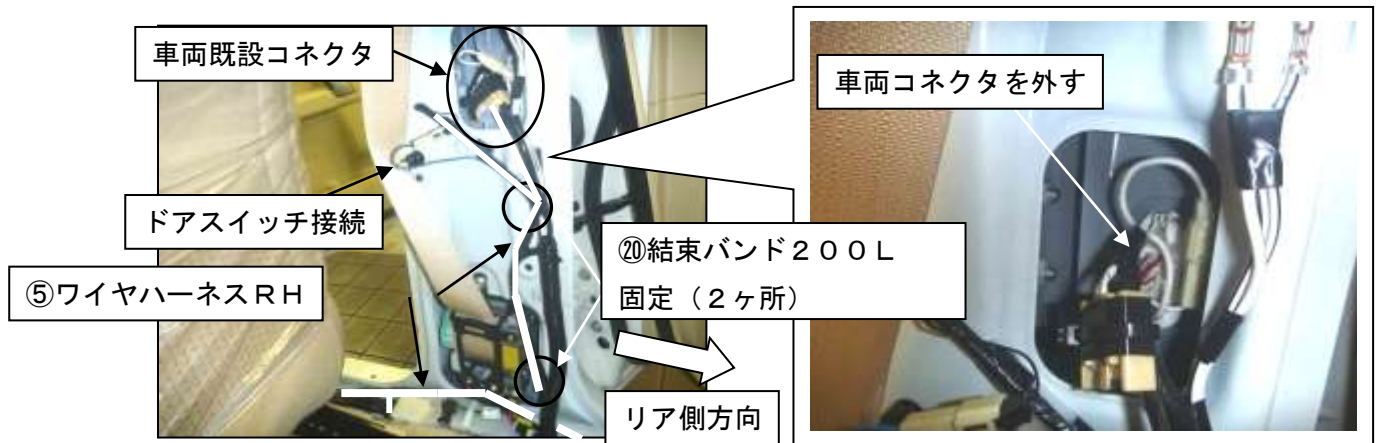


写真32. 運転席Bピラー付近配線

8. ⑤ワイヤハーネスRHを助手席側配線作業、P. 14の作業工程10.と同様に行い、⑳結束バンド200Lで車両ハーネスと固定する。(2ヶ所固定) 但し、電源取出しの線色が違うので注意する。(図8参照)

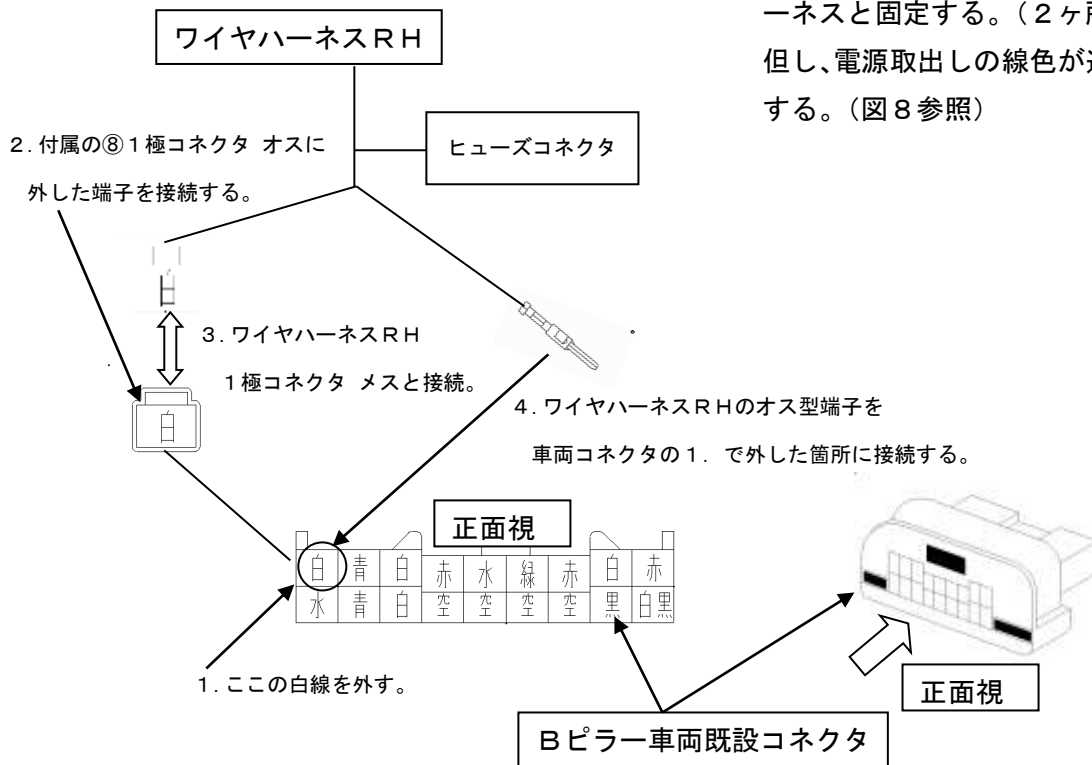


図8. 運転席側電源取り出し

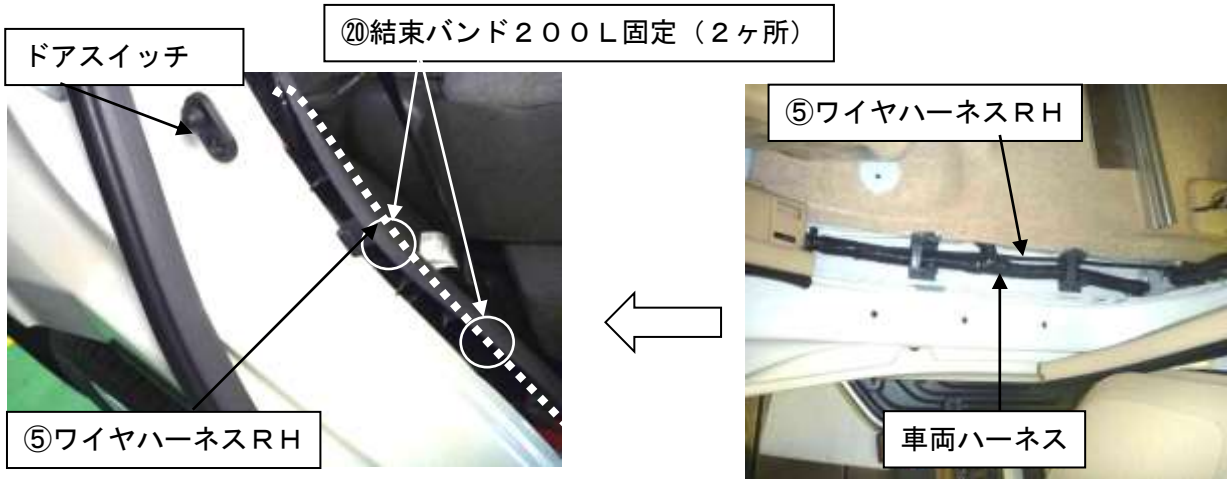


写真33. リアドアスカッププレートRH配線

9. ⑤ワイヤハーネスRHを助手席配線作業、P. 15の作業工程12.と同様に行いリア側ドアスイッチに接続し②⑩結束バンド200Lで固定する。(2ヶ所固定)

## ステップスイッチ取り付け

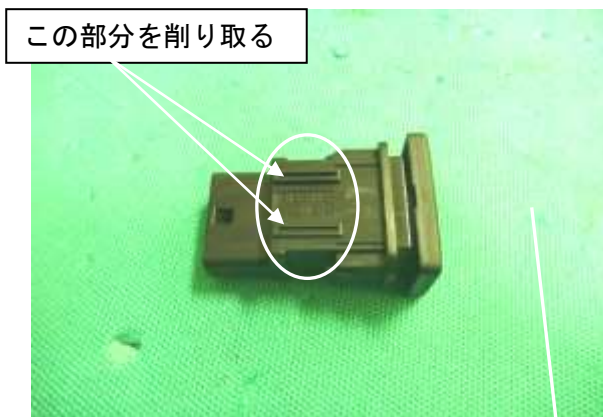


写真34. スイッチR加工

1. ステップ用⑦スイッチRをインストルメントパネルに取り付けできるように予め加工する(写真34参照)。
2. ⑥スイッチLを取り付けるためにインストルメントパネルを加工する。(P. 20参照)
3. 写真35のように⑥スイッチLと⑦スイッチRをそれぞれインストルメントパネルに取り付ける。



写真35. スイッチ取り付け

## ステップスイッチL取り付け



②⑥ SWベゼル

写真36. スイッチ予備位置取り付け後

## インストルメントパネル加工

1. 点線内のリブを切り落とす。

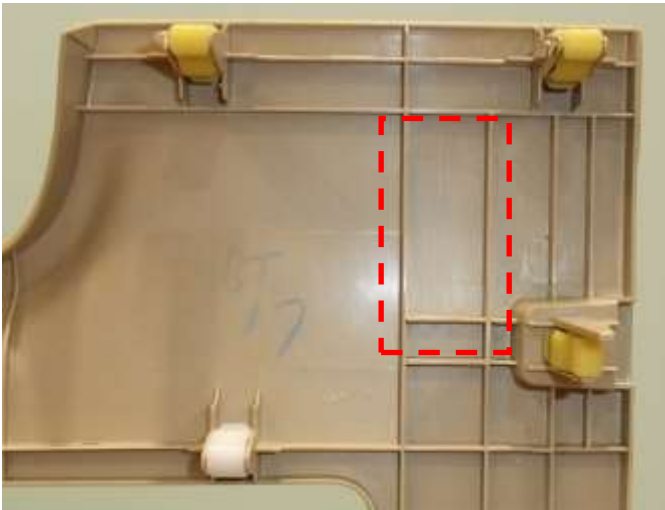


写真37. リブ切取り前

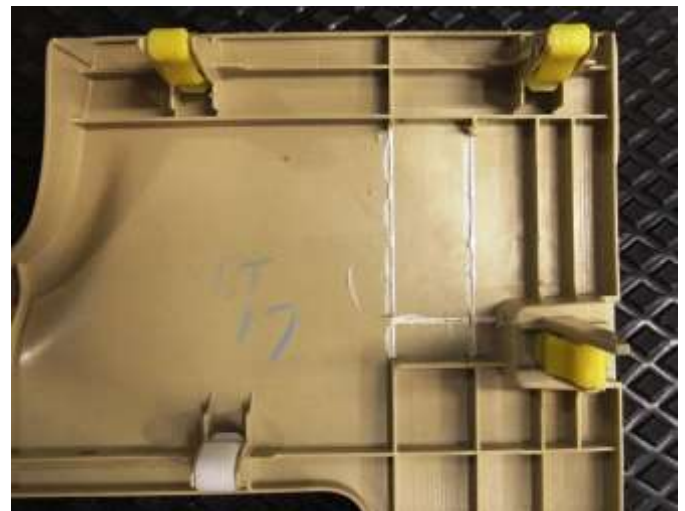


写真38. リブ切取り後

2. ②⑥スイッチベゼルを当てて内側のラインをけがく。

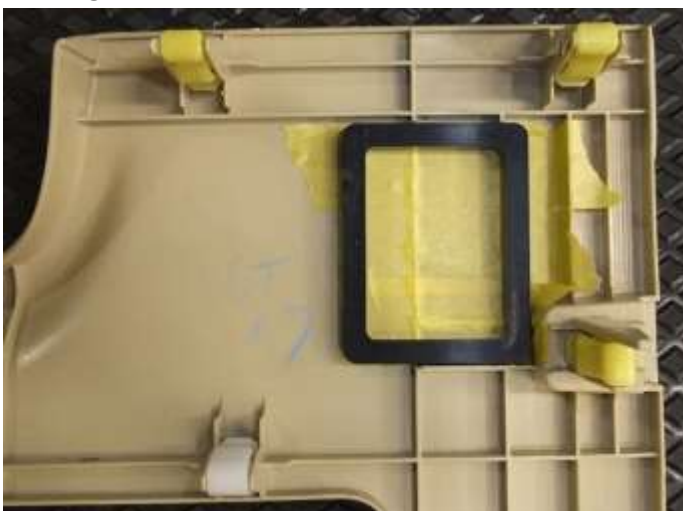


写真39. パネル切り抜き前



写真40. パネル切り抜き後

## アース配線作業



写真4 1. 助手席スイッチハーネス固定

1. 写真4 1のようにワイヤハーネスLHのスイッチL用8極コネクタがインストールメントパネル裏側から外に少しはみ出るまで長さを調整し、ハーネスの余長分をスイッチ裏で他のハーネスと一緒に結束バンドで固定する。  
(1ヶ所固定)

余長分ハーネスを束ねて結束バンドで固定する

スイッチ用8極コネクタ



写真4 2. アース接続



アースポイント

2. 写真4 2の位置のアースポイントに各ワイヤハーネスの丸型端子を取り付ける。
3. アース線ハーネスを写真4 3の位置に結束バンドで車両ハーネスと一緒に固定する。この時、写真4 3の下側の結束バンド固定位置でアース線ハーネスの余長分を束ね、㊸結束バンド200Lで調整する。(2ヶ所固定)
4. ワイヤハーネス、メインRH、LHの8極コネクタをそれぞれのステップスイッチに接続する。

㊸結束バンド200L固定



㊸結束バンド固定200L (余長分調整)

写真4 3. アース線コンベックス固定

## ステー、コネクタの取り付け

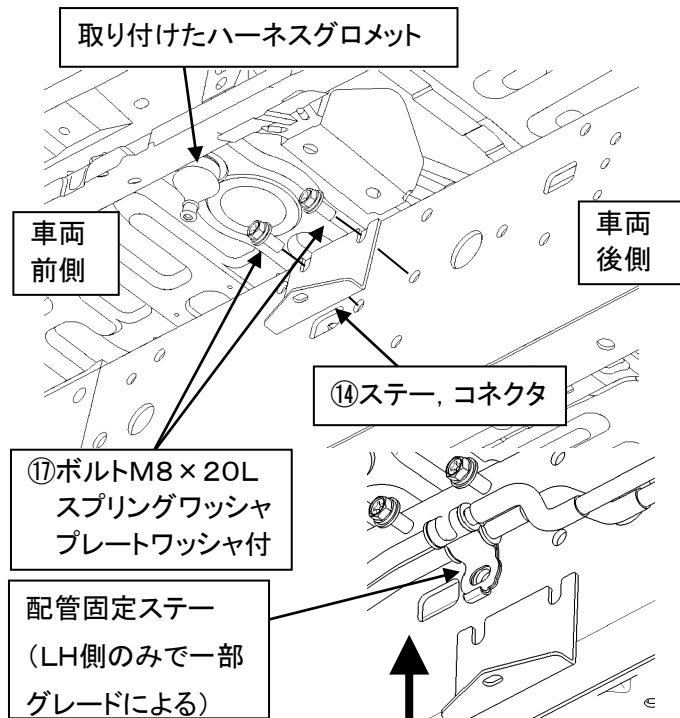


図9. 助手席側フロアメンバー中央部

1. ステップ用ハーネス貫通穴(取り付けたハーネスグロメット)近くにある既設ネジM8(2ヶ所)を使い、⑭ステー、コネクタを⑰ボルトM8×20L(2個)で取り付ける。

ボルト締め付けトルク

9. 8~15. 7N・m(100~160kgf・cm)

## LH(助手席)側ステップ本体の取り付け

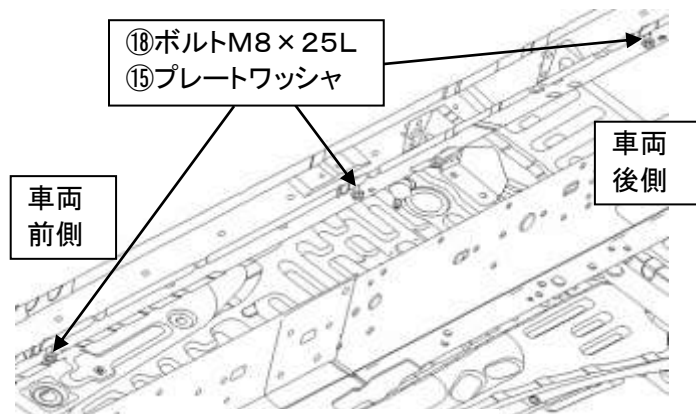


図10. ボルトの仮付け

1. LH(助手席)側既設ステップ取り付け穴(車両外側の穴)のフロント、リヤ、センター部に1ヶ所ずつ⑱ボルトM8×25L、⑮プレートワッシャを仮付けする。

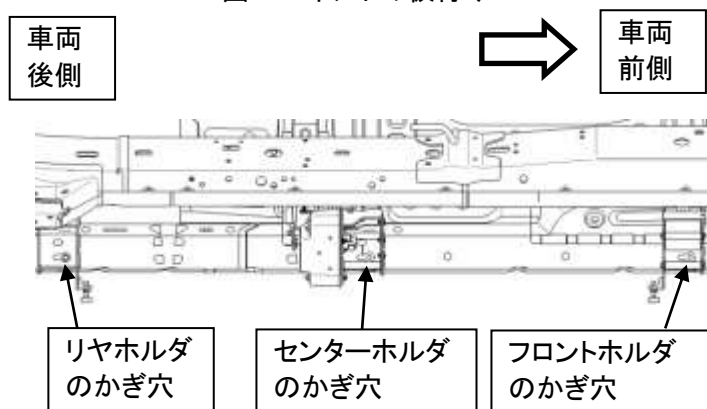
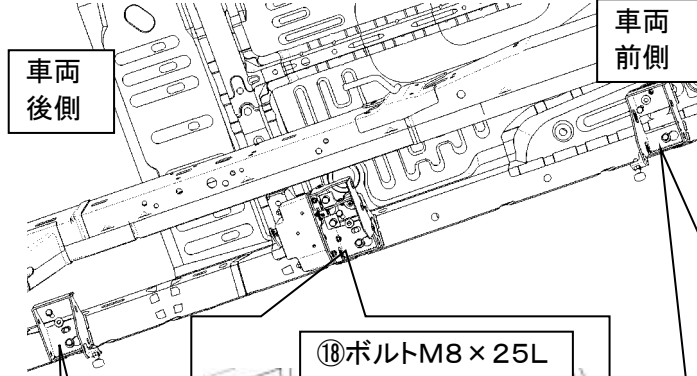


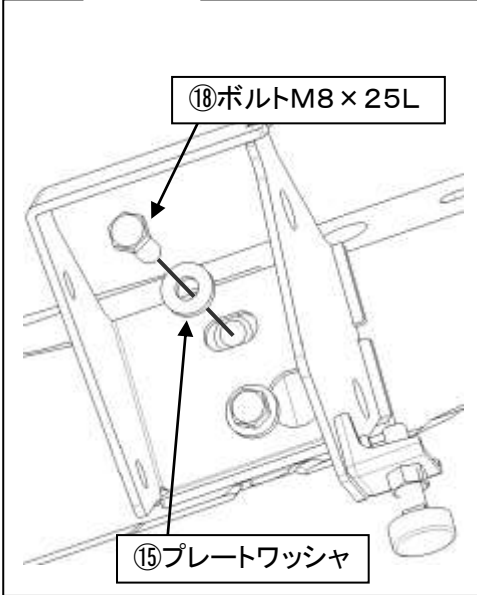
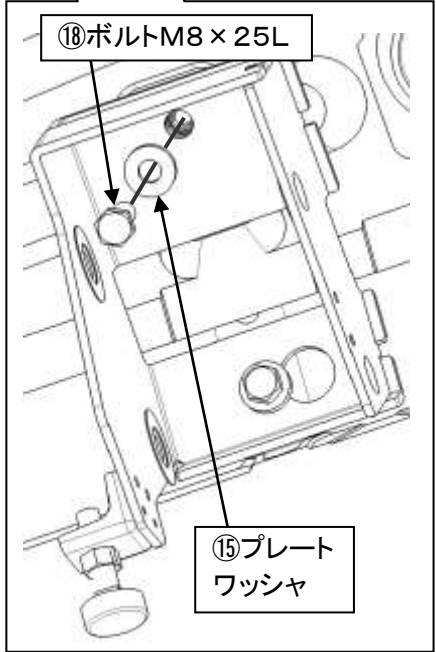
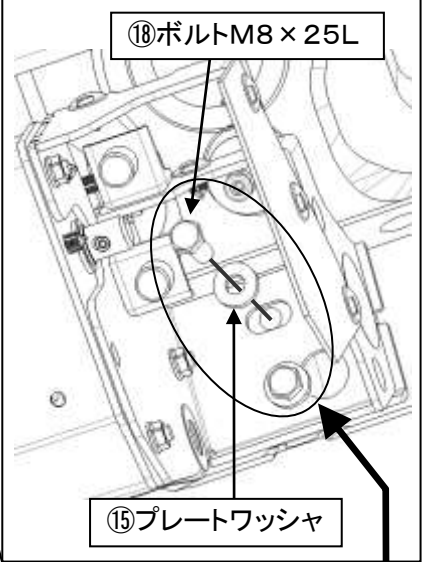
図11. 仮付けボルトとステップ本体のホルダかぎ穴合わせ

2. 仮付けしたボルト位置に、①ステップ本体(LH側)のホルダのフロント、リヤ、センターのかぎ穴を合わせて①ステップ本体(LH側)を取り付け面まで持ち上げて、矢印の方向(車両前側)へスライドさせてステップ本体を引っ掛ける。

LH(助手席)側ステップ本体の取り付けの続き



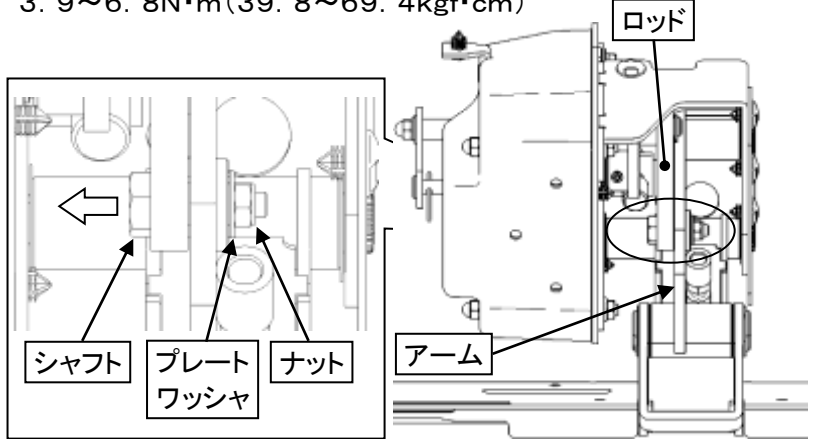
3. ①ステップ本体(LH側)の取り付け穴残り3ヶ所を⑩ボルトM8×25Lと⑮プレートワッシャで仮締めする。
4. 6ヶ所全てのボルトを締め付ける。  
ボルト締め付けトルク  
19. 6~29. 4N・m(200~300kgf・cm)
5. RH(運転席)側も同様に取り付け。



アドバイス

ボルトや工具が入れにくい場合は、ロッドとアームを接続しているナットを取り外してシャフトを矢印の方向へ抜き取って下さい。  
復元する時は、抜き取った方向からシャフトを挿入して、プレートワッシャとナットでロッドとアームを接続して下さい。  
ナット締め付けトルク

3. 9~6. 8N・m(39. 8~69. 4kgf・cm)



## ワイヤハーネス・ドライブユニットのコネクタ接続

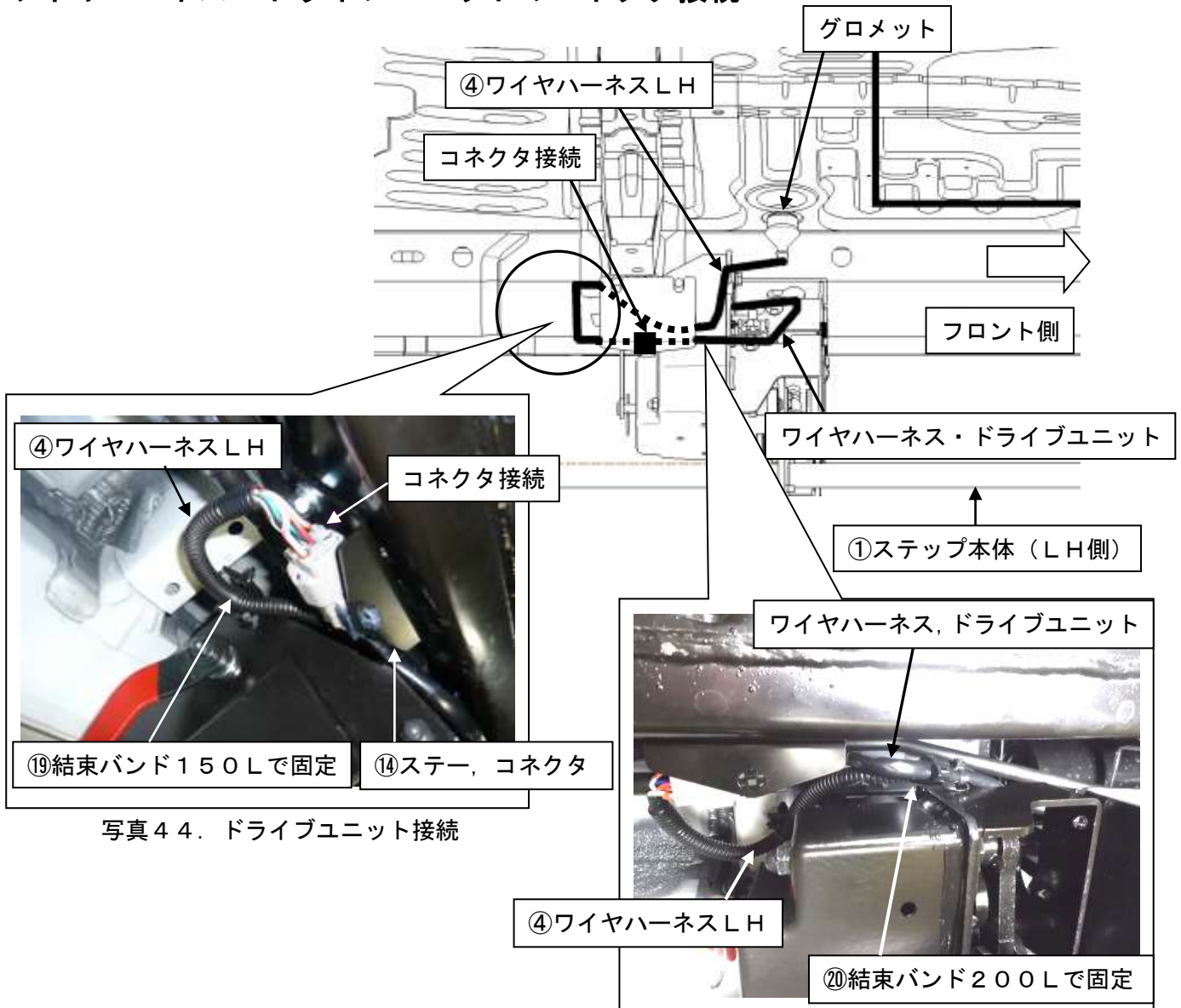


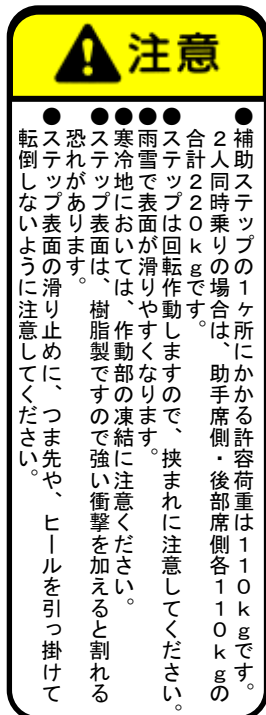
写真44. ドライブユニット接続

写真45. ドライブユニット、ハーネス固定

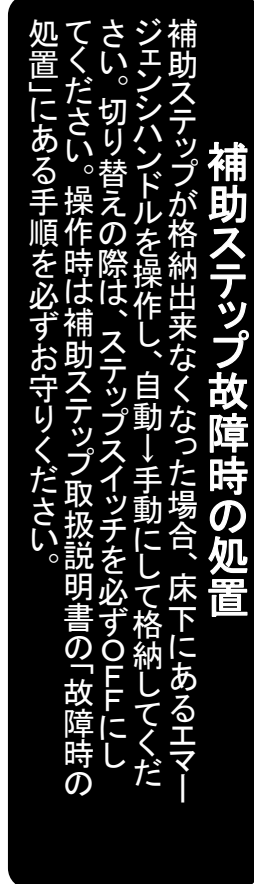
1. P. 12の作業工程4. で床下に落とした④ワイヤハーネス LHのコネクタとLH側ワイヤハーネス・ドライブユニットのコネクタを接続してからコネクタを⑭ステー, コネクタに取り付ける。その後、⑱結束バンド150Lでワイヤハーネス LHを写真44の結束バンド固定位置にクリップを利用して固定する。(1ヶ所固定)
2. 写真45のように④ワイヤハーネス LHをドライブユニットのハーネスに⑳結束バンド200Lで固定する。(1ヶ所固定)
3. RH側もLH側と同様に行う。

## コーションラベルの貼り付け

⑪A



⑫B



1. ⑪コーションラベルAを運転席側のBピラー正面下部へ、⑫コーションラベルBをBピラー側面へそれぞれ貼り付ける。



写真46. RH（運転席）側Bピラー

取扱説明書を参考に作動確認して下さい。  
作動確認後は内装部品復元時、ウイングデッキ用ハーネスの挟み込みが無いか確認しながら復元作業して下さい。

## ウイングデッキストップボルト調整

1. 別紙プラド ウイングデッキカバーASSY取付要領書に従ってウイングデッキにカバーを取り付ける。
2. ウイングデッキのストップボルト2箇所をウイングデッキが全入りの時、意匠面が合うように調整する。(写真47参照)
3. RH側も同様に行う。

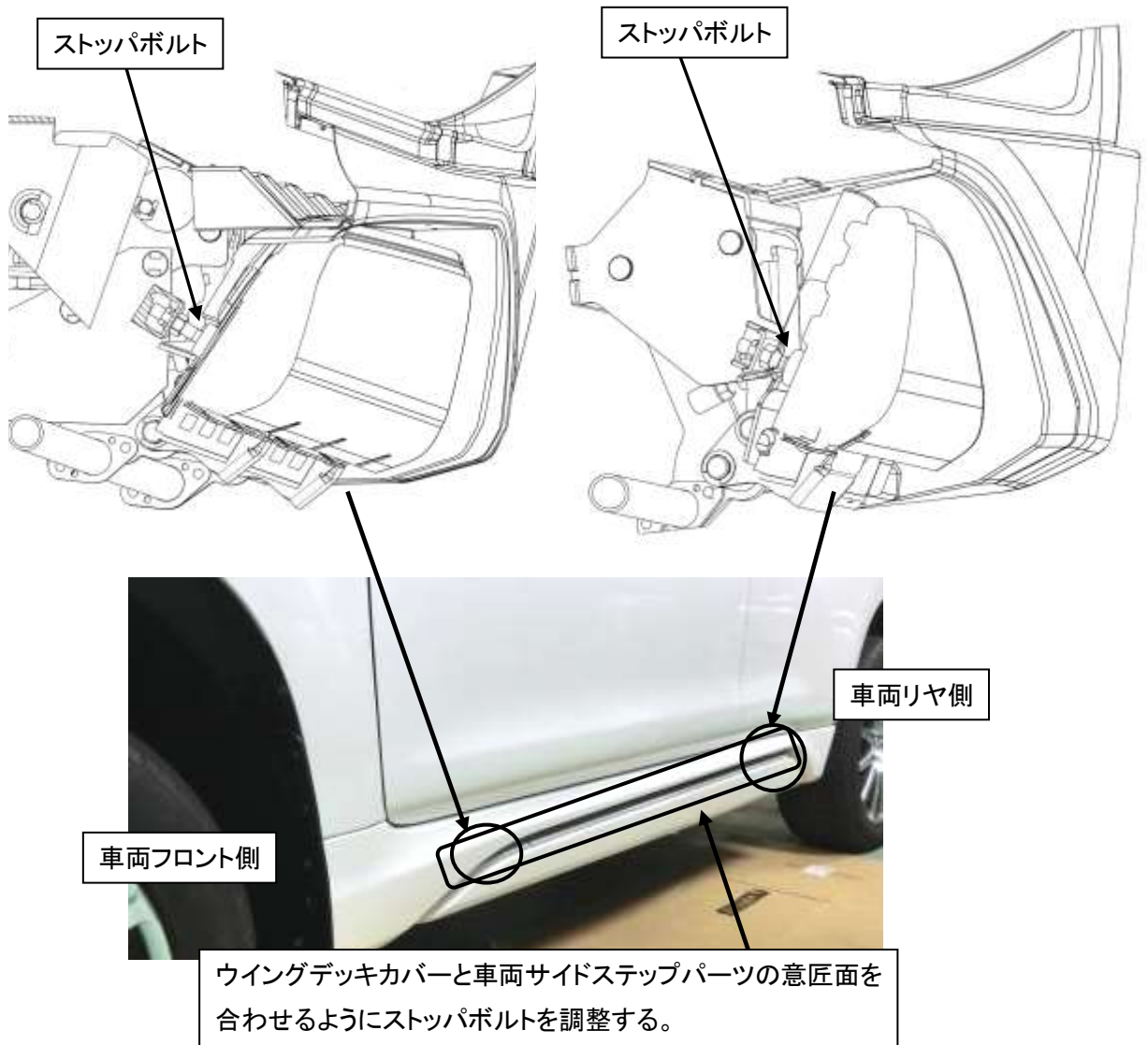
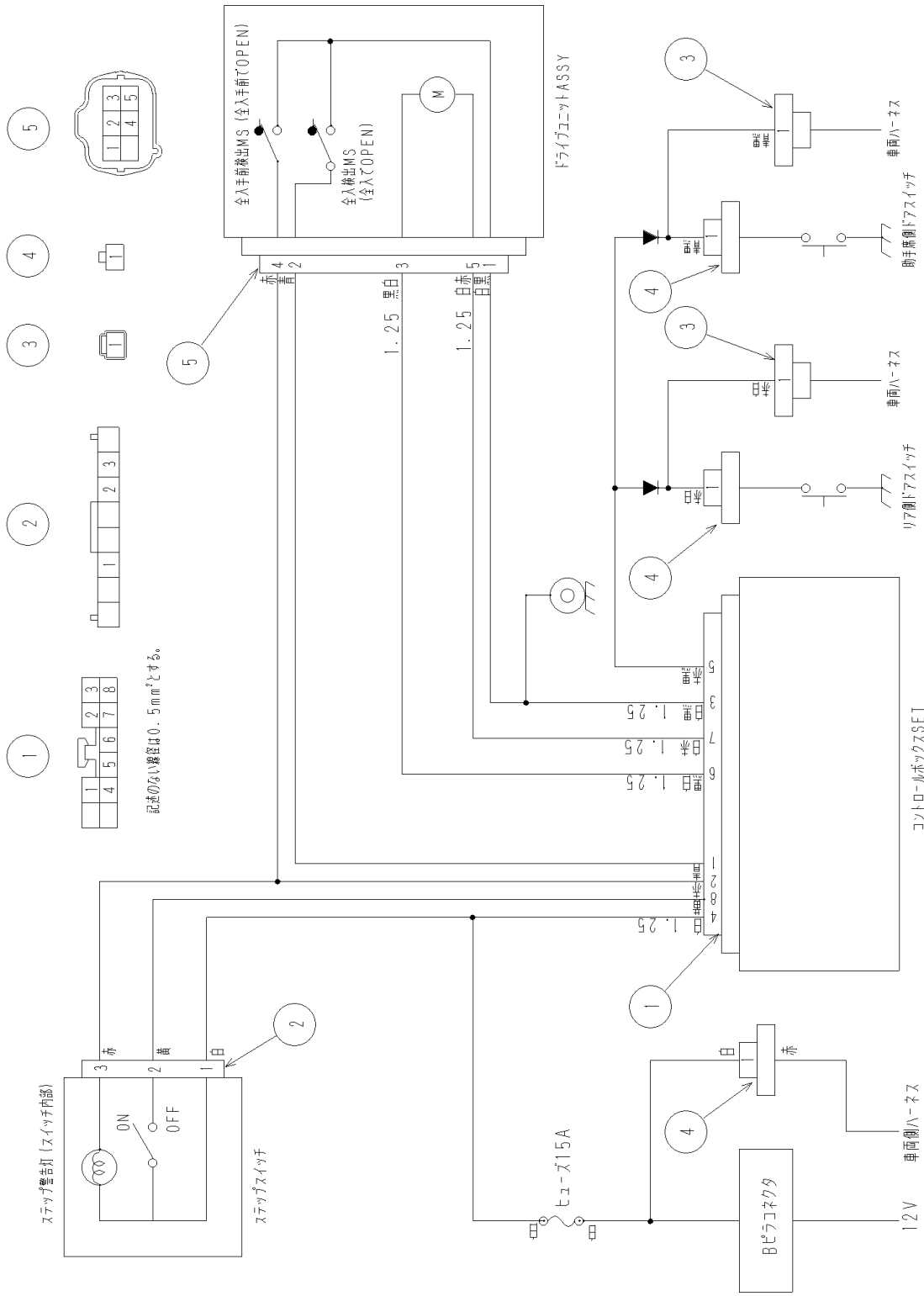
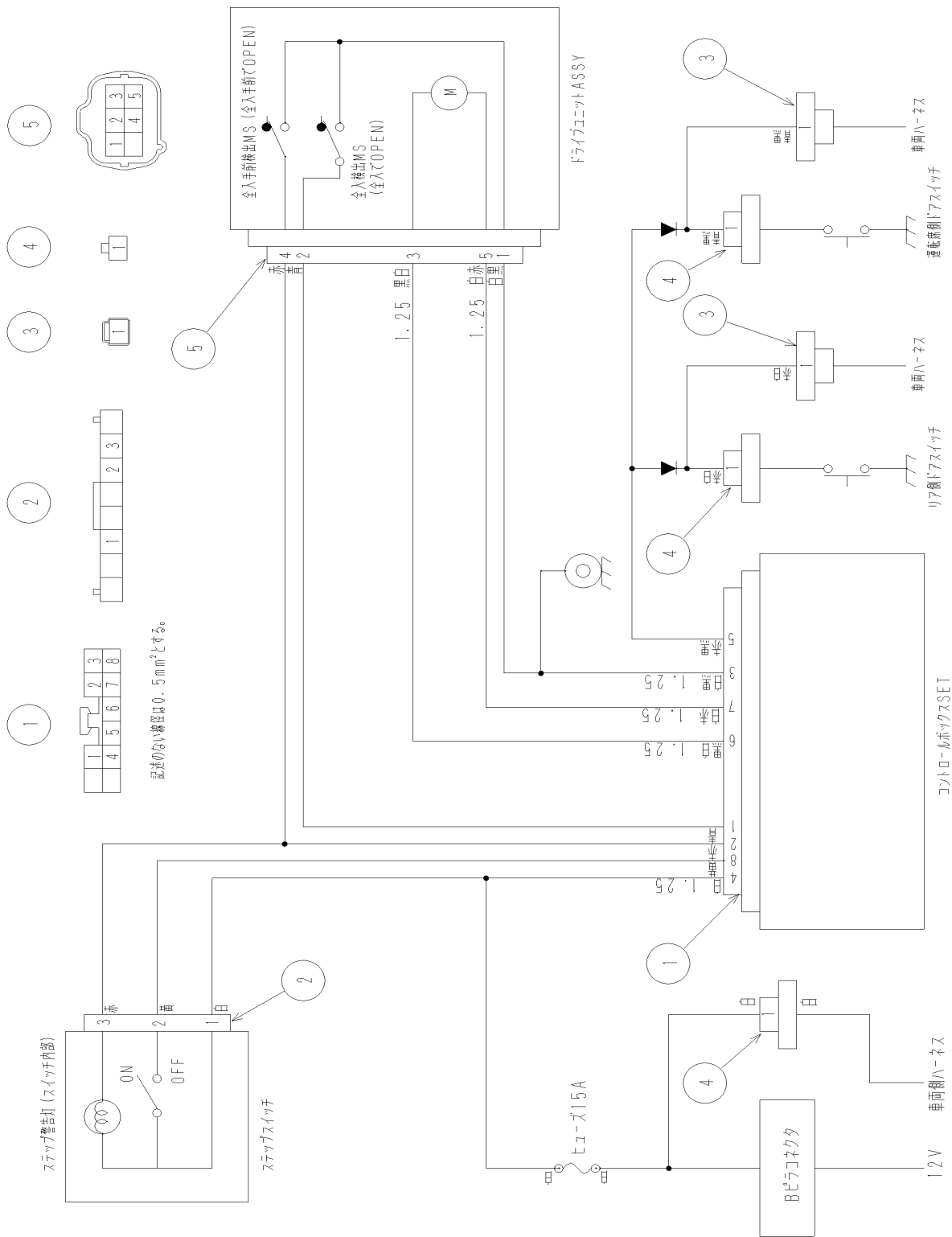


写真47. LH側ウイングデッキストップボルト調整

# 助手席側配線図



# 運転席側配線図



記載のない線径は0.5mmとする。

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
本書は、ウイングデッキカバーASSYの取付要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

ウイングデッキ機構部を取り付け後に本商品を取り付けて下さい。

### 取り付け上の注意事項

- 取り付ける前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際、間違えない様に配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意して下さい。
- 商品の仮合せ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施下さい。
- ウイングデッキカバーASSYを取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- 両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。  
脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。  
(PACプライマーN200を本品に添付)
- Ⓢ プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- Ⓢ 両面テープは、外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、特に白色塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で完全に拭き取って下さい。
- Ⓢ 両面テープの圧着を十分に行なって下さい。500kpa (5kgf/cm<sup>2</sup>) 以上

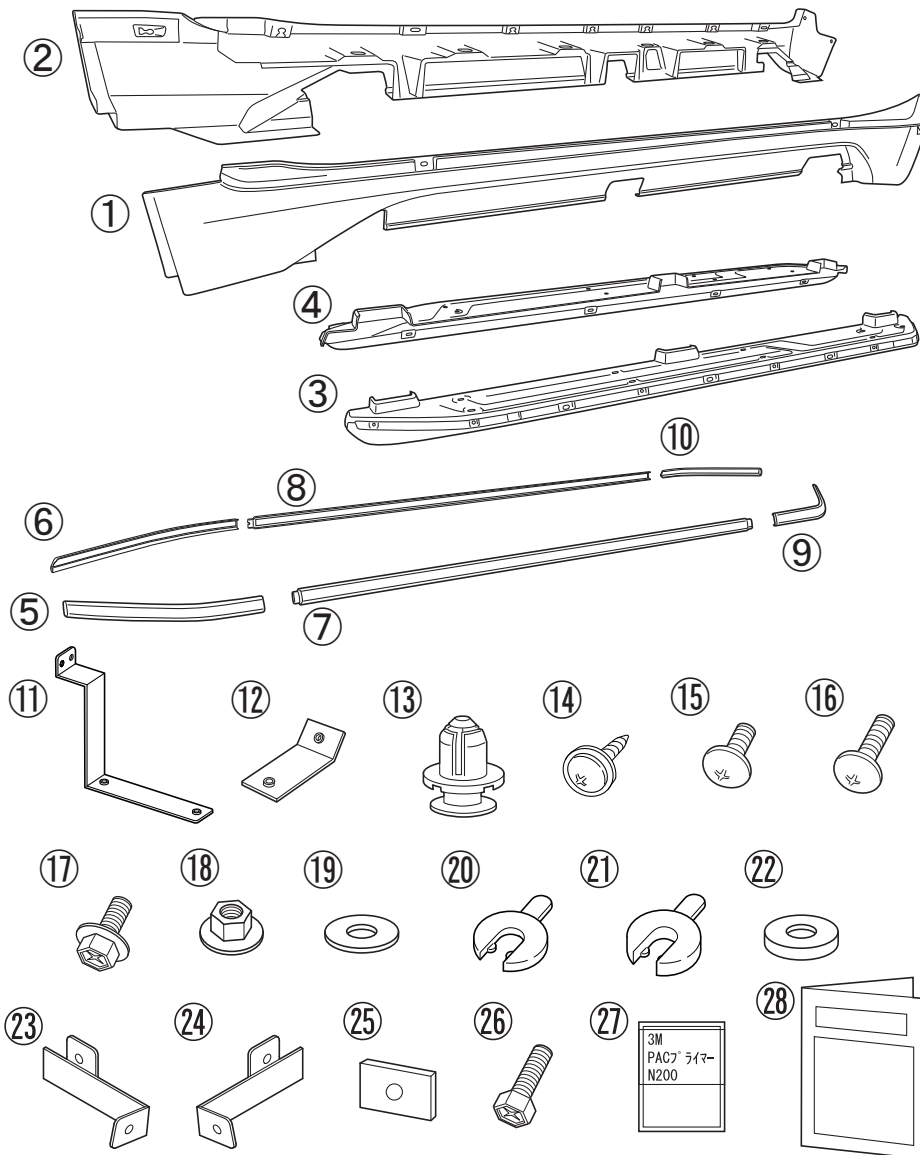
### 取り付け完了後の点検・注意事項

- ウイングデッキカバーASSYが、車両ロッカーパネル、ウイングデッキ機構部に確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、ウイングデッキカバーASSY及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、最低3時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。  
(両面テープが剥がれる恐れがあります。)



アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

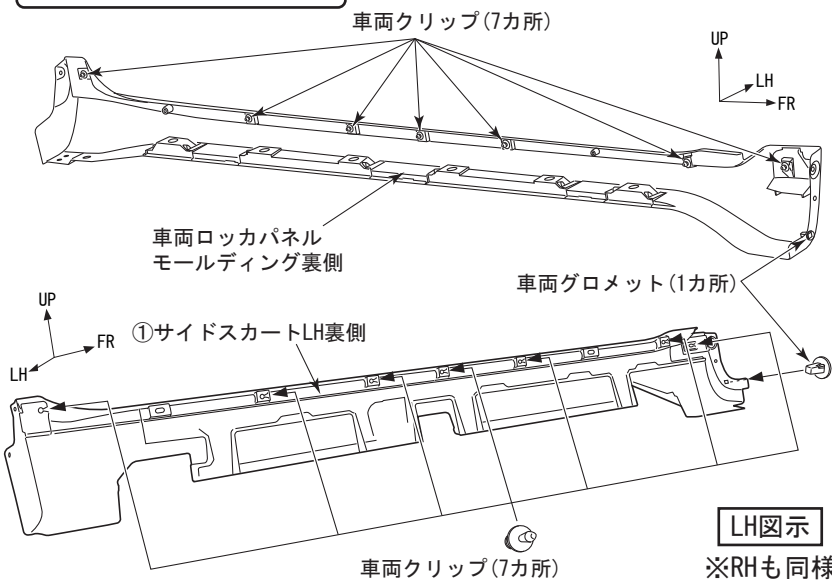
構成部品



No.	品名	個数
①	サイドスカート LH	1
②	サイドスカート RH	1
③	ウイングデッキカバー LH	1
④	ウイングデッキカバー RH	1
⑤	シルバーモールA LH	1
⑥	シルバーモールA RH	1
⑦	シルバーモールB LH	1
⑧	シルバーモールB RH	1
⑨	シルバーモールC LH	1
⑩	シルバーモールC RH	1
⑪	ブラケットNo, D011	2
⑫	ブラケットNo, D012	8
⑬	クリップ	12
⑭	トラスタッピングスクリューワッシャー付M5×20	4
⑮	トラスボルトM5×10	4
⑯	トラスボルトM5×15	44
⑰	アプセットボルトワッシャー付M6×15	2
⑱	フランジ付ナットM5	2
⑲	ワッシャーM5	18
⑳	つまみ付スペーサー (2mm)	2
㉑	つまみ付スペーサー (3mm)	2
㉒	樹脂スペーサー	6
㉓	ブラケットNo, D013L	1
㉔	ブラケットNo, D013R	1
㉕	ステンレスプレート	2
㉖	アプセットボルトM5×25	2
㉗	PACプライマー-N200	1
㉘	取付要領書	1

取付手順

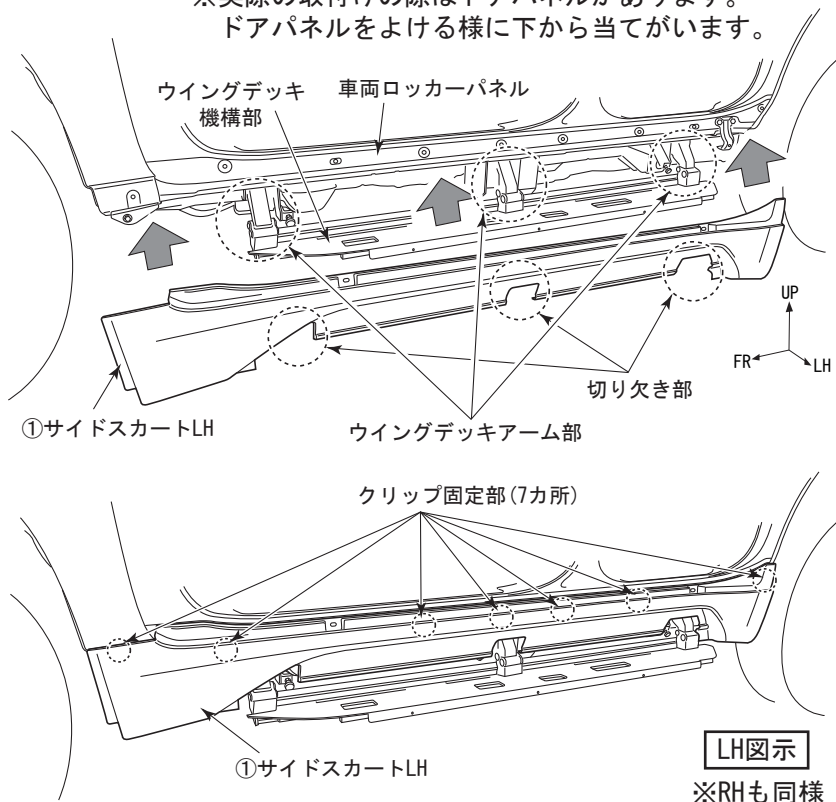
(1) 取り付け準備-①



1. 車両ロッカパネルモールディングから、車両クリップ (7カ所) と車両グロメット (1カ所) を取り外し、①サイドスカートLHへ移設する。

## (2) 取り付け-①

※実際の取付けの際はドアパネルがあります。  
ドアパネルをよける様の下から当てがいます。

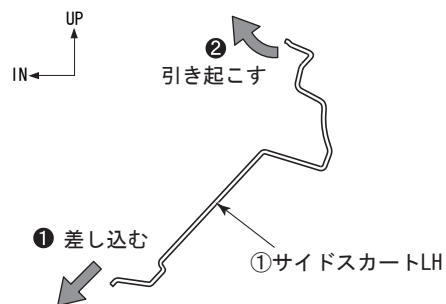


1. 車両の前後のドアを開け、①サイドスカート下側切り欠き部を、ウイングデッキ機構部のアーム部に差し込んでから引き起こし、車両ロッカーパネルに当てがう。  
(左図参照)
2. ①サイドスカートのクリップ部を固定する。  
(7カ所) (左図参照)

### アドバイス

- ・ウイングデッキ機構部は、ステップ部を開いた状態で以後の作業を行なって下さい。

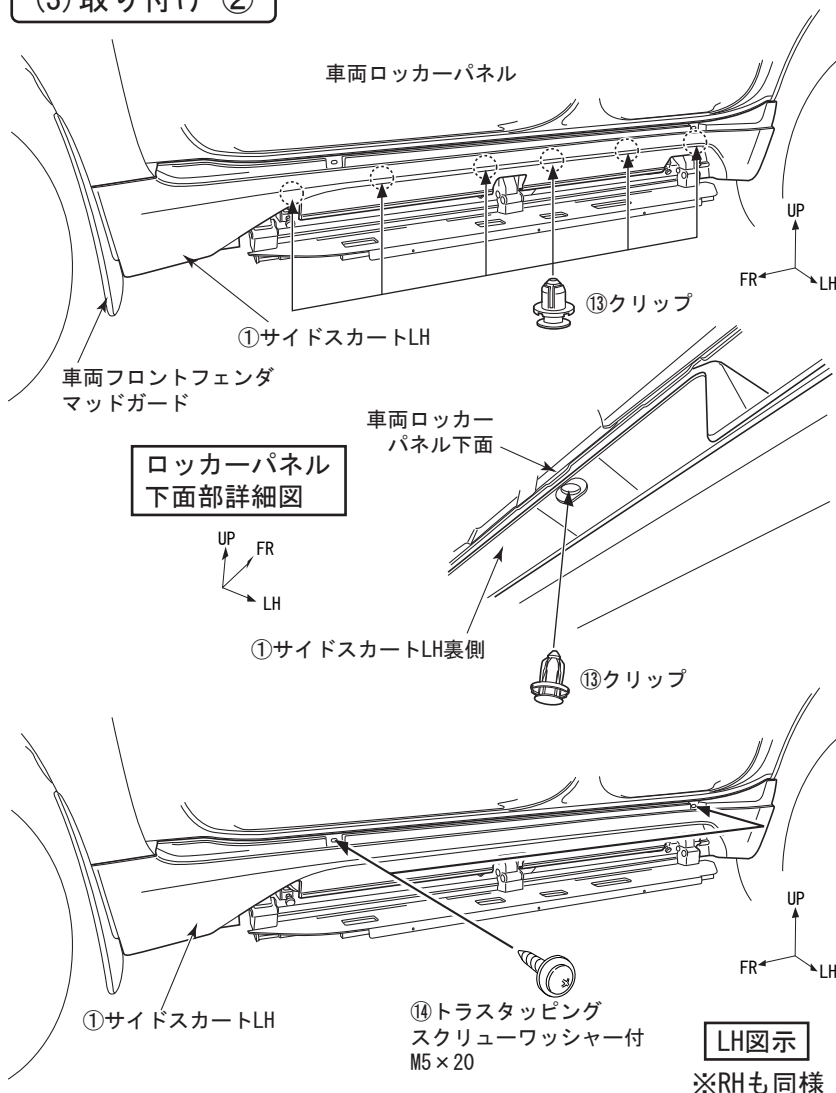
### アーム部断面図



LH図示

※RHも同様

## (3) 取り付け-②



1. 車両フロントフェンダマッドガードを復元する。

### アドバイス

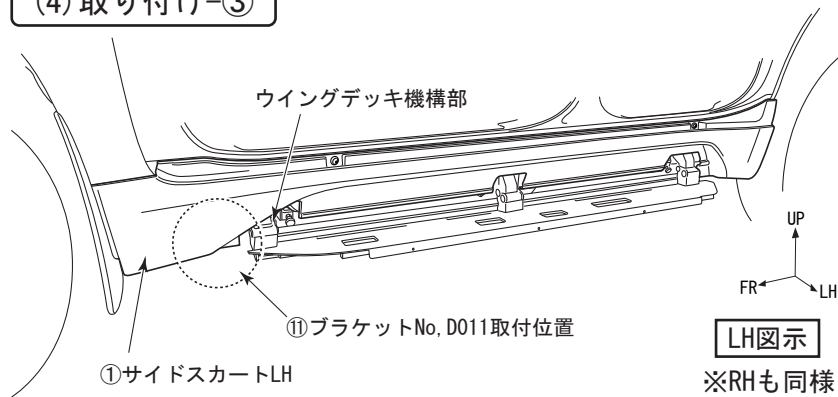
- ・取り外し、取り付けの詳細は、トヨタ自動車発行の修理書をご参照下さい。

2. ①サイドスカートLH下面部を⑬クリップで固定する。  
(6カ所) (左図参照)
3. ①サイドスカートLH上部穴位置を⑭トラスタッピングスクリューワッシャー付M5×20で仮固定する。  
(2カ所) (左図参照)

LH図示

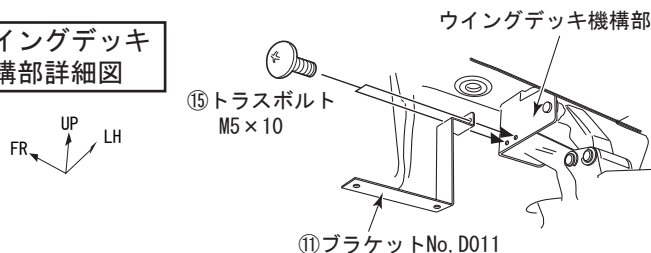
※RHも同様

**(4) 取り付け-③**

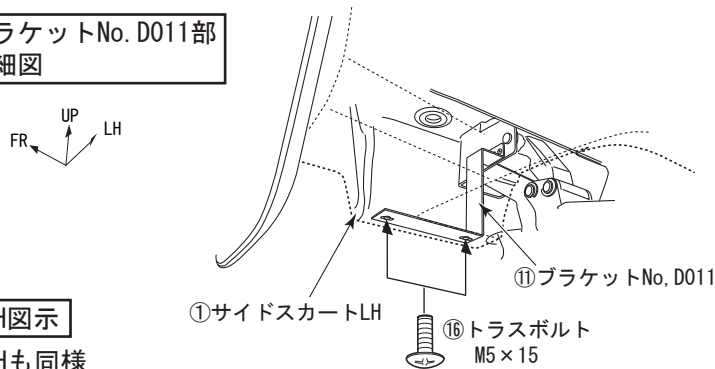


1. 図示のウイングデッキ機構部取付穴に⑪ブラケットNo. D011を⑮トラスボルトM5×10で仮固定する。(2カ所) (左図参照)
2. ①サイドスカート下面部と⑪ブラケットNo. D011とを⑯トラスボルトM5×15で仮固定する。(2カ所) (左図参照)

**ウイングデッキ機構部詳細図**

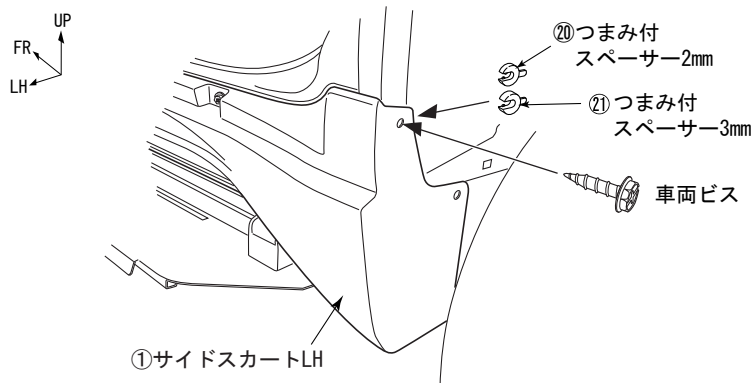


**ブラケットNo. D011部詳細図**



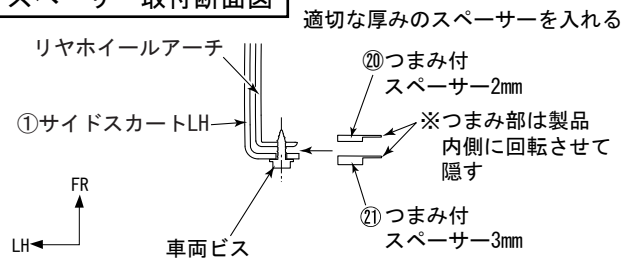
**(5) 取り付け-④**

**ホイールハウス部詳細図**

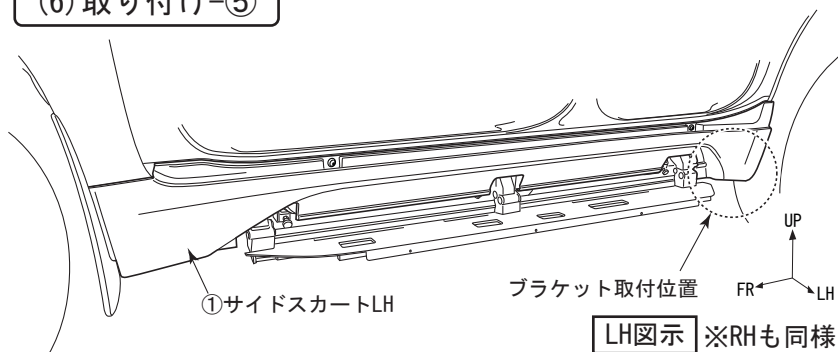


1. ①サイドスカートLHリヤホイールアーチ部上部穴を車両ビスで仮固定する。その際、適切な厚みの②⑩つまみ付スペースー2mm/3mmを入れる。(1カ所) (左図参照)

**スペーサー取付断面図**



**(6) 取り付け-⑤**



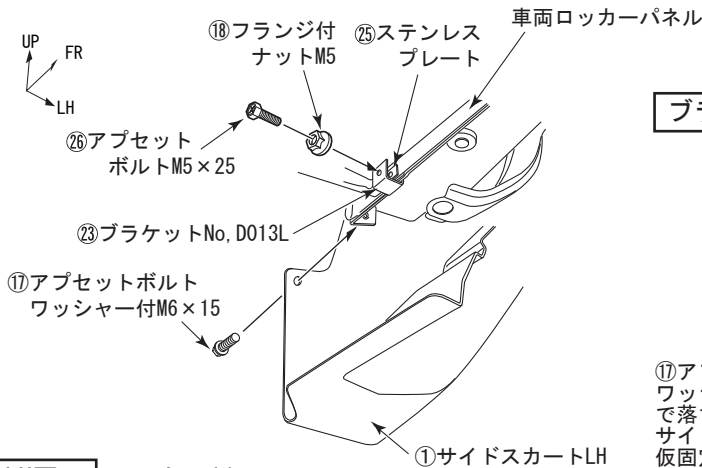
LH図示 ※RHも同様

- ①サイドスカートLH裏側に②3ブラケットNo, D013Lを①7アプセットボルトワッシャー付M6×15で落ちない程度に仮固定する。  
(1カ所) (左図参照)
- 車両ロッカーパネルに、②3ブラケットNo, D013Lを⑤ステンレスプレート、⑥アプセットボルトM5×25、⑧フランジ付ナットM5ではさみ込むように仮固定する。  
(1カ所) (左図参照)

**アドバイス**

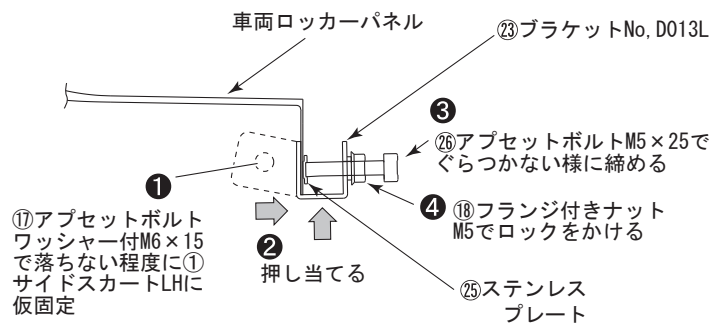
左断面図①～④の手順で作業を行うと、作業がしやすくなります。

**ブラケットNo, D013L取付部詳細図**



LH図示 ※RHも同様

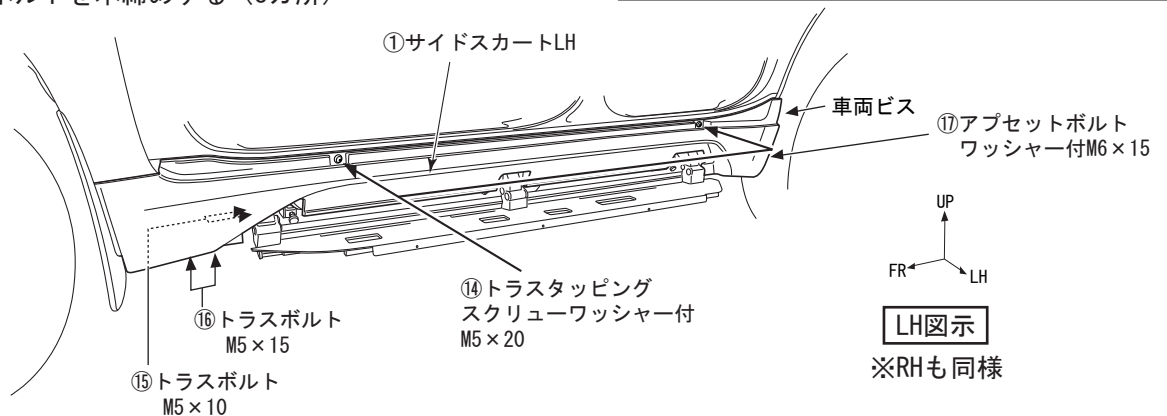
**ブラケットNo, D013L取付部断面図**



**(7) 取り付け-⑥**

取付ビス、ボルトを本締めする (8カ所)

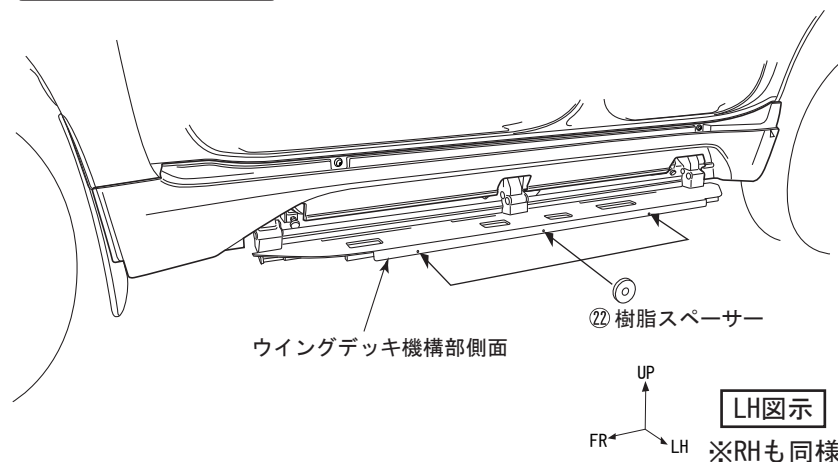
- 全てのビス、ボルトを本締めする。  
(8カ所)



LH図示 ※RHも同様

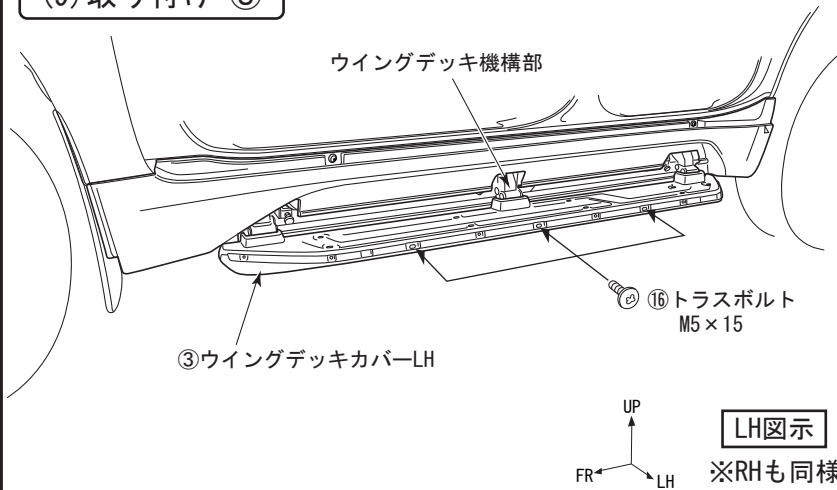
**(8) 取り付け-⑦**

- ウイングデッキ機構部側面の穴位置に合わせ、②樹脂スペーサーを貼り付ける。  
(3カ所) (左図参照)



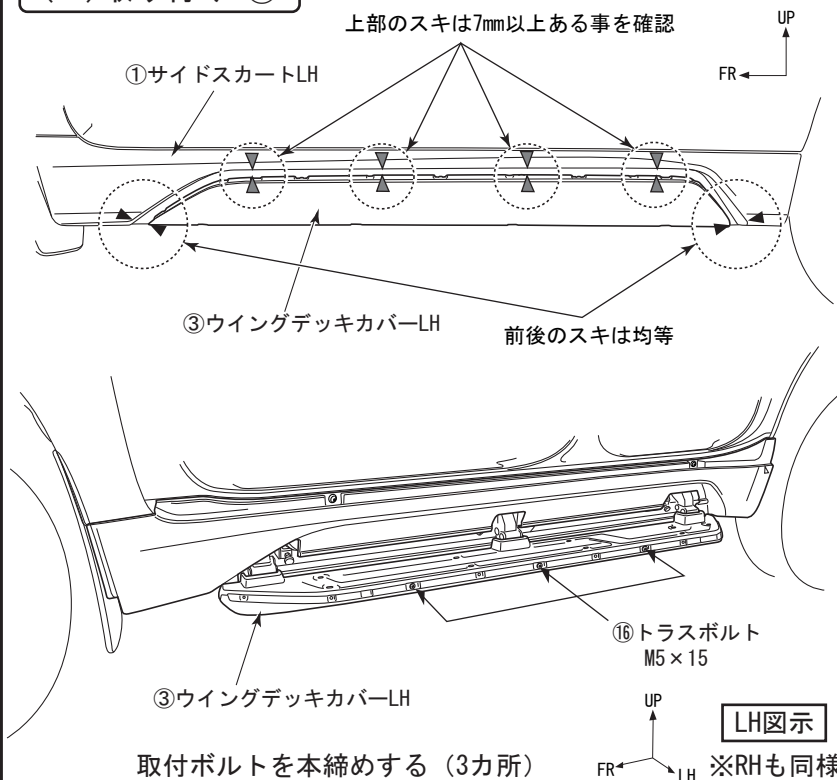
LH図示 ※RHも同様

(9) 取り付け-⑧



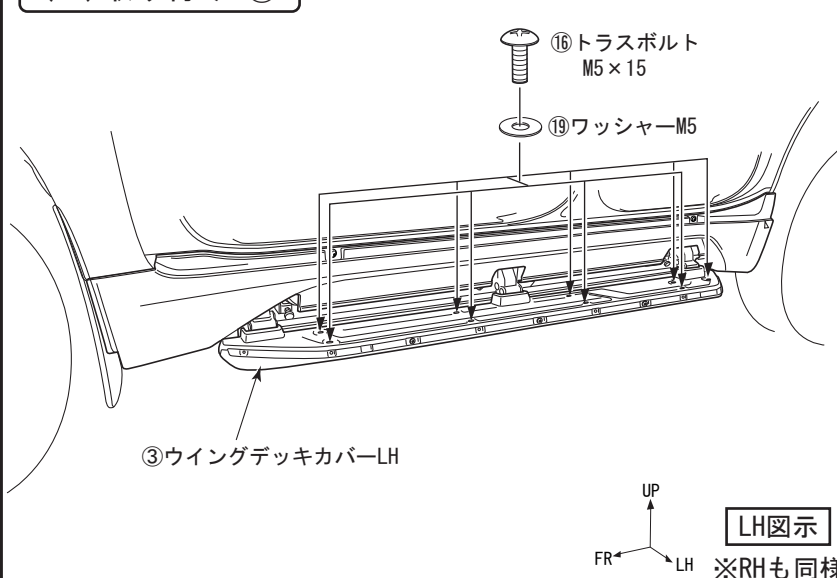
- ③ウイングデッキカバー-LHをウイングデッキ機構部にかぶせ、側面部を⑯トラスボルトM5×15で仮固定する。(3カ所) (左図参照)

(10) 取り付け-⑨



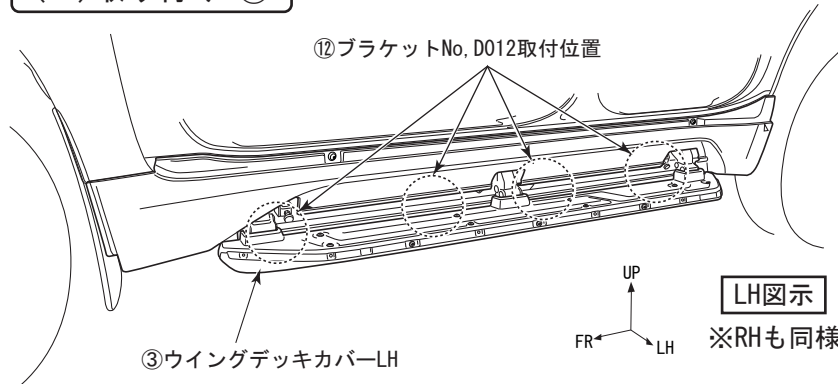
- 一旦、ウイングデッキステップ部を格納し、左図の要領で外周のスキを確認する。その際、前後のスキは均等に合わせ、上部は7mm以上ある事を確認する。7mm以下の場合③ウイングデッキカバーを外し、⑳樹脂スペーサーを剥がして、③ウイングデッキカバーを取り付ける。
- 再度、前後のスキを確認しながら、③ウイングデッキカバー-LH側面部の⑯トラスボルトM5×15を仮固定する。(3カ所) (左図参照)

(11) 取り付け-⑩



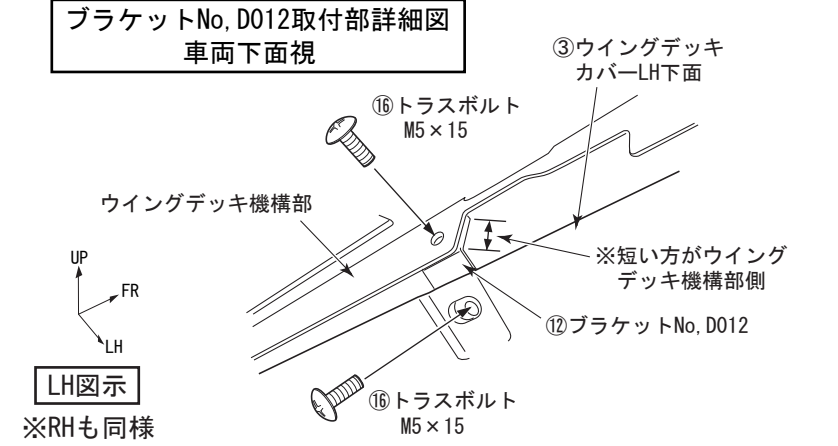
- ③ウイングデッキカバー-LH上面部を⑯トラスボルトM5×15と⑲ワッシャー-M5で仮固定する。(9カ所) (左図参照)

(11) 取り付け-⑩

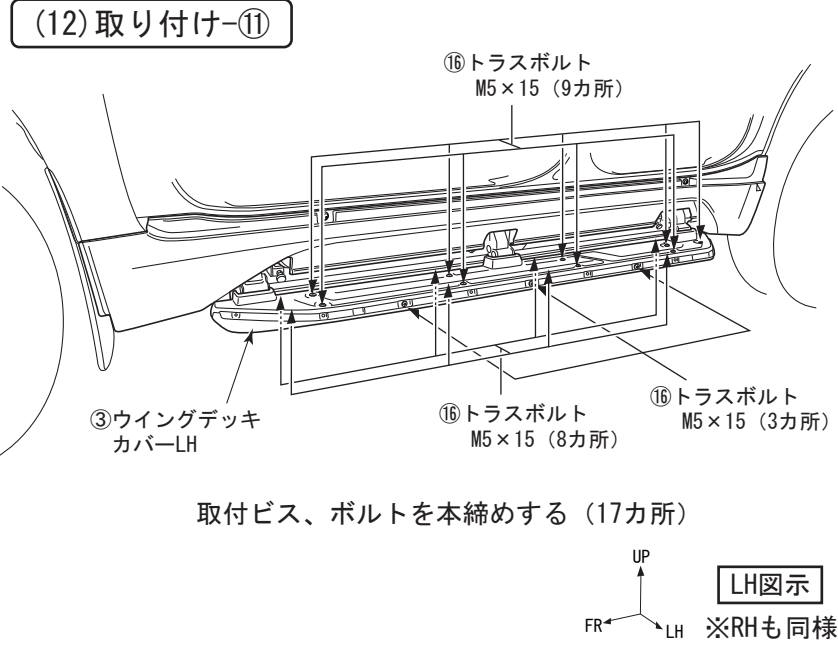


1. ウイングデッキ機構部と③ウイングデッキカバーLH下面部を⑫ブラケットNo, D012と⑯トラスボルトM5×15で仮固定する。  
(ブラケット固定位置4カ所)  
(ボルト固定8カ所) (左図参照)

ブラケットNo. D012取付部詳細図  
車両下面視

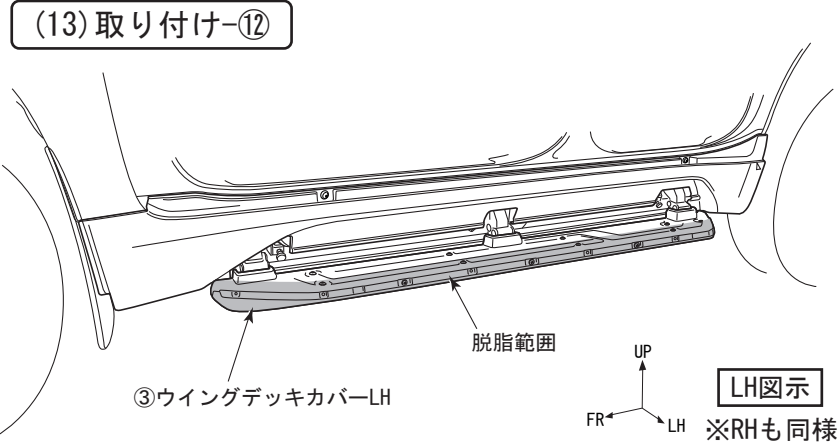


(12) 取り付け-⑪



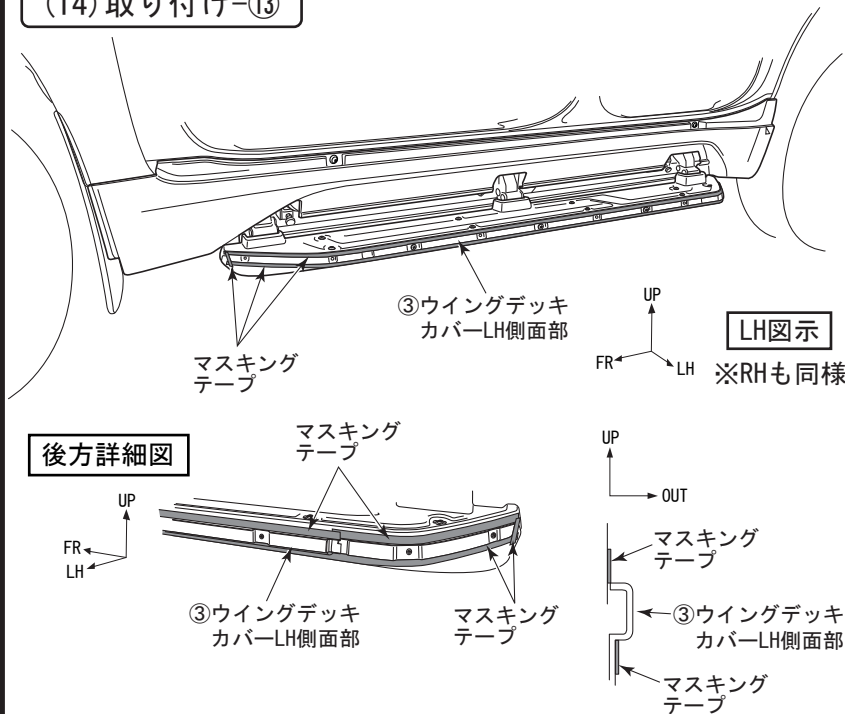
1. 全てのボルトを本締めする。  
(20カ所)

(13) 取り付け-⑫



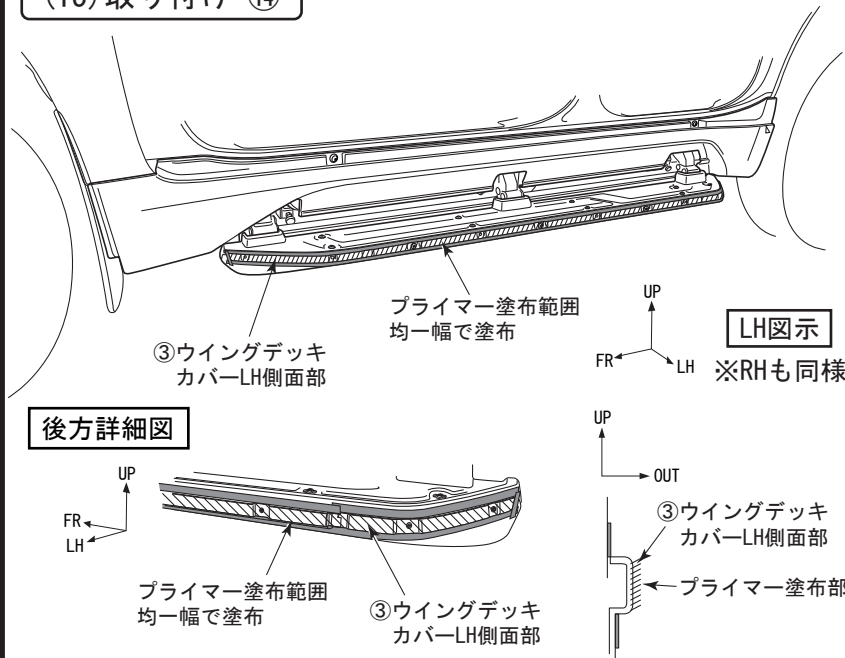
1. 左図 ■部を脱脂する。(左図参照)

(14) 取り付け-⑬



1. プライマー塗布の為に、③ウイングデッキカバー-LH側面部をマスキングテープでマスキングする。(左図参照)

(15) 取り付け-⑭



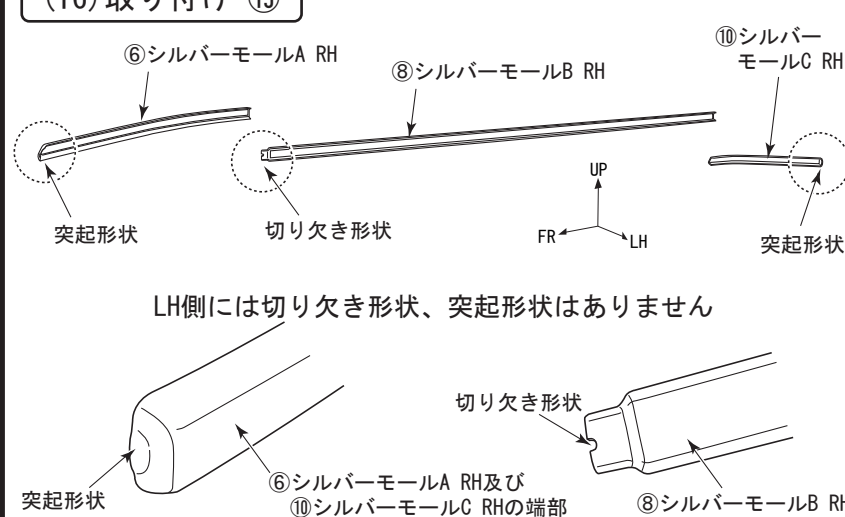
1. 両面テープ貼り付け部（左図斜線部内均一幅）に⑳PACプライマー-N200を塗布する。

**アドバイス**

- ・⑳PACプライマー-N200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・⑳PACプライマー-N200塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。

2. 全てのマスキングテープを剥がす。

(16) 取り付け-⑮

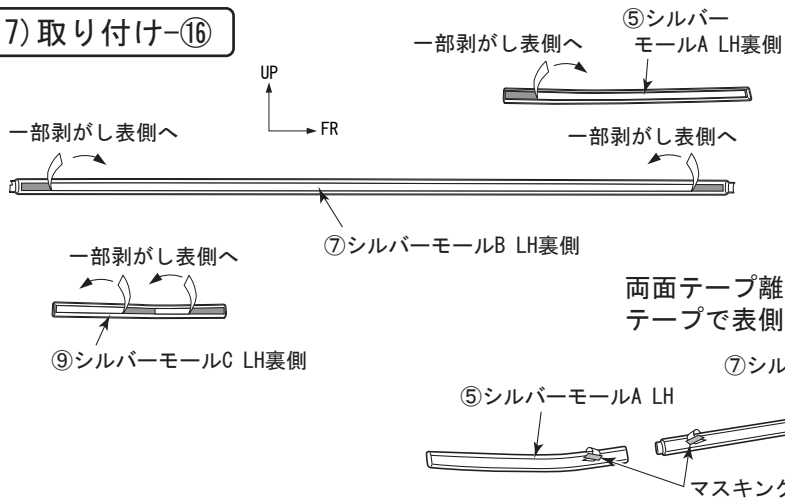


1. ⑤～⑩シルバーモールABC LH/RHの左右の確認をする。

- ・⑥⑩シルバーモールAC RHには端部に突起形状
- ・⑧シルバーモールB RHには端部に切り欠き形状

※⑤⑦⑨シルバーモールABC LHには突起形状及び、切り欠き形状はありません。

(17) 取り付け-⑬



- ⑤⑦⑨シルバーモールドABC LHの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。

両面テープ離型紙をマスキングテープで表側に貼り付ける

⑤シルバーモールドA LH

⑦シルバーモールドB LH

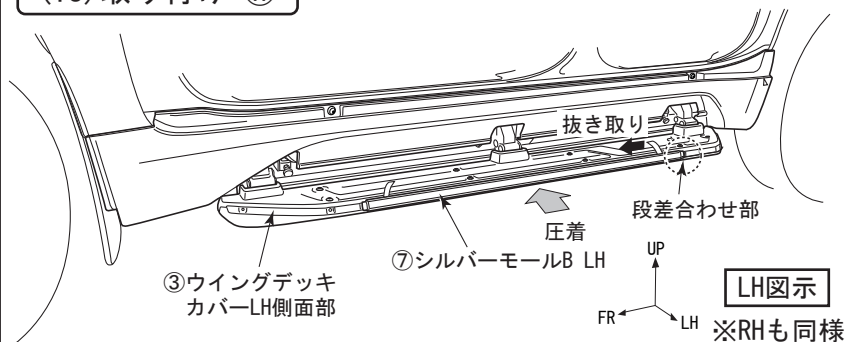
⑨シルバーモールドC LH

マスキングテープ

LH図示

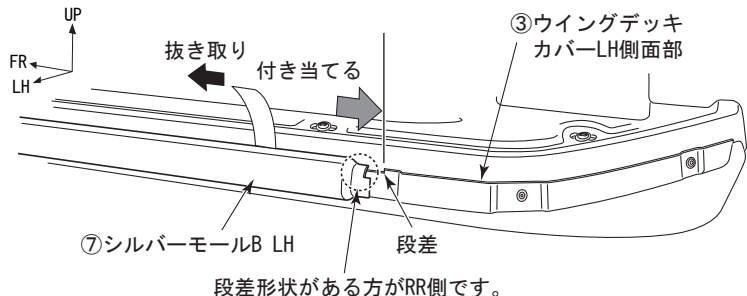
※RHも同様

(18) 取り付け-⑭



- ⑦シルバーモールドB LHを③ウイングデッキカバー後方の段差に突き当てて、両面テープ離型紙を抜き取り、圧着する。
- ⑤シルバーモールドA LHを⑦シルバーモールドB LHとのスキを2mm目安で合わせて、両面テープ離型紙を抜き取り、圧着する。
- ⑨シルバーモールドC LHを⑦シルバーモールドB LHとのスキを2mm目安で合わせて、両面テープ離型紙を抜き取り、圧着する。

段差合わせ部詳細図



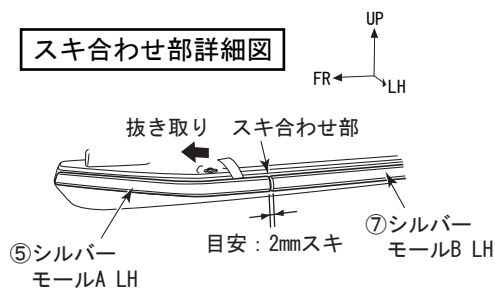
アドバイス

- 両面テープの圧着力は500kpa (5kgf/cm<sup>2</sup>)以上で行なって下さい。
- 位置決めの際、モールド上下のスキを均等に合わせて下さい。

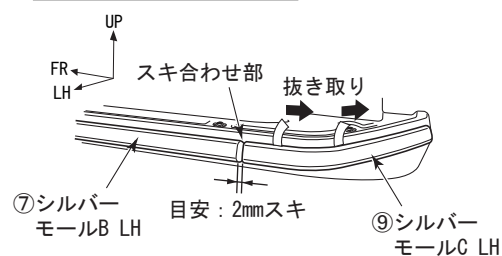
重要

- 浮き、剥がれ、傷等が無い事を確認し、再圧着する。

スキ合わせ部詳細図

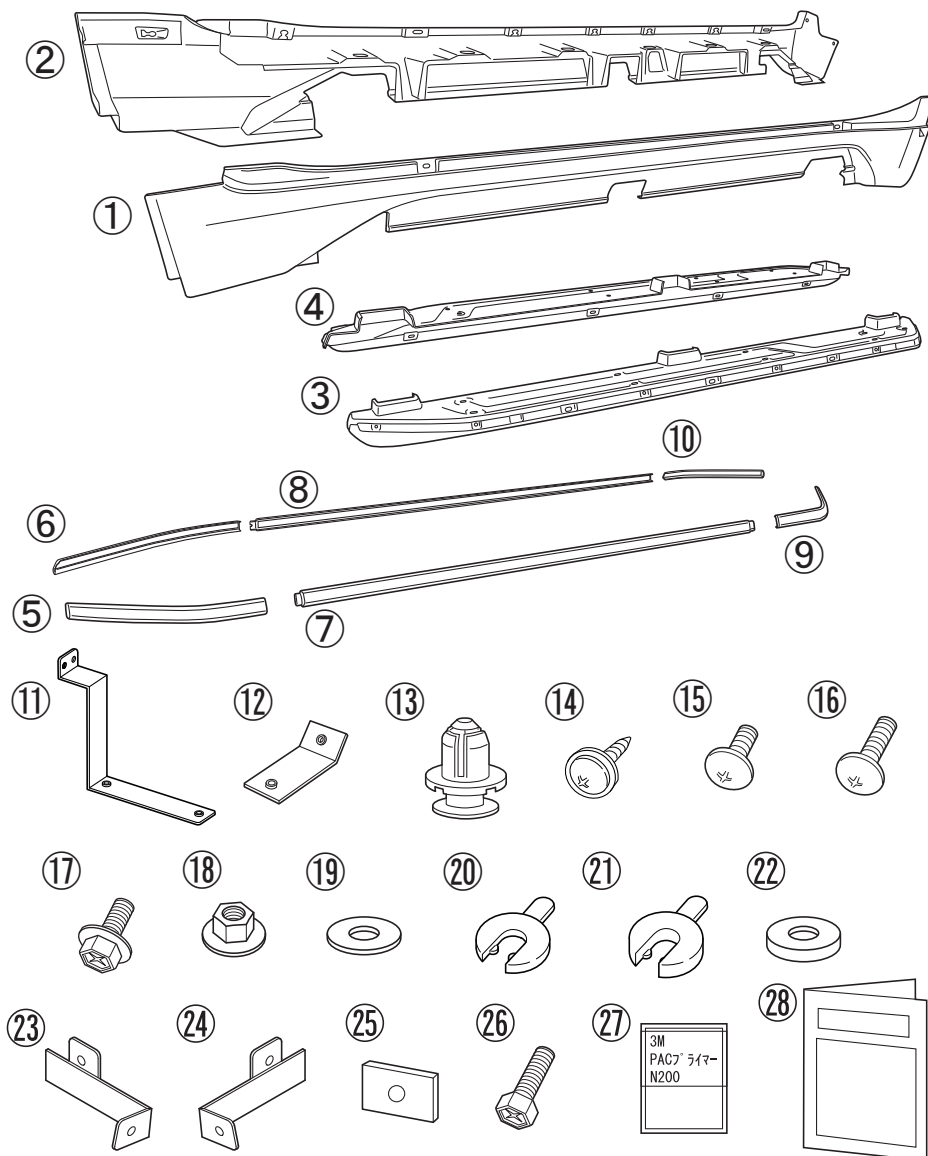


スキ合わせ部詳細図



# ウイングデッキカバーASSY 素地品の塗装手順

## 構成部品



No.	品名	個数
①	サイドスカート LH	1
②	サイドスカート RH	1
③	ウイングデッキカバー LH	1
④	ウイングデッキカバー RH	1
⑤	シルバーモールA LH	1
⑥	シルバーモールA RH	1
⑦	シルバーモールB LH	1
⑧	シルバーモールB RH	1
⑨	シルバーモールC LH	1
⑩	シルバーモールC RH	1
⑪	ブラケットNo. D011	2
⑫	ブラケットNo. D012	8
⑬	クリップ	12
⑭	トラスタッピングスクリューワッシャー付M5×20	4
⑮	トラスボルトM5×10	4
⑯	トラスボルトM5×15	44
⑰	アセットボルトワッシャー付M6×15	2
⑱	フランジ付ナットM5	2
⑲	ワッシャーM5	18
⑳	つまみ付スペーサー (2mm)	2
㉑	つまみ付スペーサー (3mm)	2
㉒	樹脂スペーサー	6
㉓	ブラケットNo. D013L	1
㉔	ブラケットNo. D013R	1
㉕	ステンレスプレート	2
㉖	アセットボルトM5×25	2
㉗	PACプライマー-N200	1
㉘	取付要領書	1

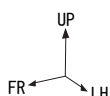
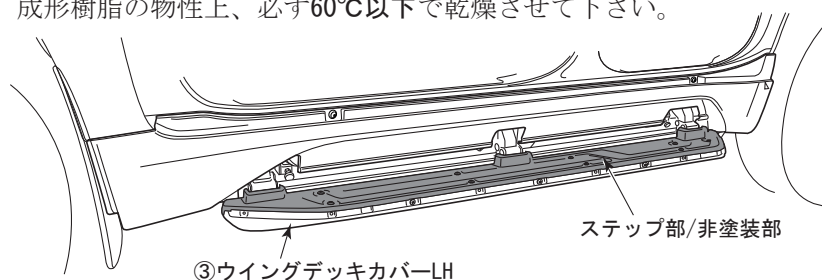
## (1) 塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。

### アドバイス

- ・ABS材は溶剤に弱いため、脱脂は手早く行ない、十分溶剤を揮発させてから次の作業を行なって下さい。
- ・もし、ペーパー等で素材を研磨する場合は、必ずペーパーの番手を#600以上で完了して下さい。

2. サイドスカートはインナー部、ウイングデッキカバーはステップ部及び裏面ゴムシート部をマスキングする。
3. ウイングデッキカバーはプライマー塗装を行なう。
4. 上塗り塗装を行なう。(本品の材質は [サイドスカート/ABS] [ウイングデッキカバー/PPE] です。)  
注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥  
注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。



LH図示

※RHも同様

ステップ部/非塗装部

③ウイングデッキカバー-LH